

## 有価証券報告書に記載すべき事項に関し重要な事実が発生したこと

バークレイズ・バンク・ピーエルシーは有価証券報告書に記載すべき事項に関し重要な事実が発生したことを示す書面として、次の各書面を添付します。

- ・ バークレイズ・バンク・ピーエルシー 2025 年度中間決算報告書
- ・ バークレイズ・バンク・ピーエルシー、バークレイズ・バンク・グループおよびバークレイズ・グループ

# バークレイズ・バンク・ピーエルシー

## 中間決算報告書

2025 年 6 月 30 日

注: 以下の情報は、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2025 年度の中間決算報告書(以下、「英語原文」とも表現いたします。)の翻訳であり、英語原文は <https://home.barclays/investor-relations/reports-and-events/financial-results/> からご確認いただけます。

## 目次

### 決算報告書

英語原文  
ページ

注	1
財務レビュー	2
リスク管理	
・ リスク管理および主要リスク	5
・ 信用リスク	6
・ 市場リスク	20
・ トレジャリー・リスクおよび資本リスク	21
取締役の責任に関する声明	24
バークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する独立監査人のレビュー報告書	25
要約連結財務書類	27
財務書類に対する注記	33
その他の情報	50

## 注

パークレイズ・バンク・ピーエルシーはパークレイズ・ピーエルシーの完全子会社です。本報告書中の「パークレイズ・バンク・グループ」は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーとその子会社を表します。本文書の「パークレイズ・グループ」または「パークレイズ」は、パークレイズ・ピーエルシーおよびその子会社を表します。別途記載のない限り、損益計算書の分析では 2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間の数値と 2024 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間の比較数値を、貸借対照表の分析では 2025 年 6 月 30 日現在の数値と 2024 年 12 月 31 日現在の比較数値を記載しています。英語原文の「£m」および「£bn」はそれぞれ百万ポンドおよび十億ポンド、英語原文の「\$m」および「\$bn」はそれぞれ百万米ドルおよび十億米ドル、ならびに英語原文の「€m」および「€bn」はそれぞれ百万ユーロおよび十億ユーロを表します。

モデルに基づく、あるいは継続的な調整や修正の対象となる減損の計算等、判断を要する主要な分野がいくつかあります。報告数値は、特定の時点の最善の見積りおよび判断を反映したものです。

本報告書で使用している用語のうち、適用される規制当局の指針または国際財務報告基準 (IFRS) で定義されていない用語は、「Glossary」で説明しており、[home.barclays/investor-relations/reports-and-events/latest-financial-results](https://home.barclays/investor-relations/reports-and-events/latest-financial-results) からご確認いただけます。

2025 年 7 月 28 日に取締役会に承認された本報告書中の情報は、2006 年会社法第 434 条の意義の範囲内における法定財務書類を構成するものではありません。2024 年 12 月 31 日終了事業年度の法定財務書類は、2006 年会社法第 495 条に基づく無限定適正意見の監査報告書を含んでいます (2006 年会社法第 498 条に基づく記載は含まれません)。当該財務書類は、2006 年会社法第 441 条に準拠して英国会社登記所に提出されています。

これらの業績は、公表後、実務上可能な限り速やかに米国証券取引所 (SEC) に様式 6-K として提出されます。SEC への提出後、様式 6-K のコピーは SEC のウェブサイト [www.sec.gov](https://www.sec.gov) から入手可能となります。

パークレイズ・バンク・グループは米国や EU を含む債券発行市場において頻繁に債券を発行しており、正式な投資家向け説明会やその他の臨時会合を通じて定期的に投資家の皆様とお会いしています。これまでと同様に、パークレイズ・バンク・グループは、次の半期においても全世界の投資家の皆様とパークレイズ・バンク・グループの業績やその他の問題について協議する機会を設ける所存です。

## 将来に関する記述

本報告書には、1934 年米国証券取引所法第 21E 条 (改正) および 1933 年米国証券法第 27A 条 (改正) の意義の範囲内における、パークレイズ・バンク・グループの将来に関する記述が含まれています。将来に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、実際の業績もしくはその他の財政状態や経営成績に関する指標は将来に関する記述に含まれるものと大幅に異なる可能性がありますので、読者の皆様はご注意ください。将来に関する記述は、過去または現在の事実のみに関連するものではないという特徴があります。将来に関する記述では、「可能性がある」、「予定である」、「目指す」、「継続する」、「努める」、「予期する」、「目標とする」、「予測する」、「期待する」、「見積る」、「意図する」、「計画する」、「ゴール」、「考える」、「達成する」、または他の同様の意味をもつ表現を使用することがあります。本報告書に関連して、将来に関する記述は文書による場合もあれば、パークレイズ・バンク・グループの取締役、役員および従業員が口頭で行う場合もあります (経営陣によるプレゼンテーションを含みます)。将来に関する記述の例としては、特に、パークレイズ・バンク・グループの将来の財政状態、事業戦略、収益水準、費用、資産負債、減損費用、引当金、資本、レバレッジおよびその他の規制上の比率、資本分配 (配当政策および株式買戻しを含みます)、有形自己資本利益率、バンキング・金融市場において予想される成長の水準、業界の動向、コミットメントおよび目標 (環境・社会・ガバナンス (ESG) のコミットメントおよび目標を含みます)、将来の業務に関する計画および目標、国際財務報告基準 (IFRS)、過去または現在の事実ではないその他の記述等があります。将来に関する記述は、将来の事象および状況に関連するものであるため、その性質上、リスクおよび不確実性を伴います。将来に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものです。将来に関する記述は、法律、規制、政府および規制当局の方針、期待および行動、自主行動規範およびそれに関連する解釈指針の変更、IFRS やその他の会計基準の改定 (その解釈および適用に関する実務を含みます)、サステナビリティ報告基準 (排出量会計手法を含みます) の出現および進展、税法および実務慣行の変更、現在および将来の法的手続ならびに規制上の調査の結果、政府およびその他の利害関係者とともに気候変動の影響を効果的に測定、管理および緩和する、または反 ESG 的規則および規制の採用、または ESG 政策に対する政府や規制当局によるその他の措置の結果も含め、パークレイズ・バンク・グループが事業を展開する地域における気候問題に関する方針の実施方法の矛盾や対立に対処するパークレイズ・バンク・グループの能力、パークレイズ・バンク・グループが管理できない環境、社会、地政学的リスクや事件とそれらと同様の事象、銀行および金融サービス業界の競争の影響、過去、現在および将来の期間に適用される自己資本、流動性、レバレッジおよびその他の規制上の規則および要件、英国、米国、ユーロ圏および全世界のマクロ経済および景気 (インフレを含みます)、クレジットおよび資本市場におけるボラティリティ、金利および外国為替レートの変動等の市場関連リスク、指標金利および指数の改革、資産評価額の上昇または下落、パークレイズ・バンク・グループ内の事業体または当該事業体が発行した証券の信用格付の変更、カウンターパーティ・リスクの変動、顧客行動の変化、関税やその他の保護主義的措置の導入を含む貿易政策の変化、ウクライナおよび中東における紛争がヨーロッパや世界のマクロ経済状況、政治的安定および金融市場に及ぼす直接および間接的影響、2024 年の米国大統領選挙後の米国の法律と政策の変更、英国の欧州連合との関係の進展、パークレイズ・バンク・グループの評判、事業または業務におけるサイバー攻撃、情報漏洩もしくはセキュリティ侵害、技術障害または事業の中断のリスクおよびそれに伴う影響、パークレイズ・バンク・グループの資金調達能力、ならびに事業買収、売却、合併およびその他の戦略的な取引の成功が挙げられます。これらの様々な要因は、パークレイズ・バンク・グループの制御が及ばないものです。したがって、パークレイズ・バンク・グループの実際の財政状態、業績、財務・非財務指標もしくはパフォーマンス指標、またはコミットメントおよび目標を達成する能力は、パークレイズ・バンク・グループの将来に関する記述に記載された記述または指針とは大きく異なる可能性があります。パークレイズ・バンク・グループの将来の財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性のあるその他のリスクおよび要因は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの米国証券取引委員会 (SEC) への提出物 (2024 年 12 月 31 日終了事業年度の様式 20-F に係るパークレイズ・バンク・ピーエルシーの英文年次報告書を含みますが、これに限りません) に記載されており、SEC のウェブサイト [www.sec.gov](https://www.sec.gov) からご確認いただけます。

開示および進行中の事項に関する情報に関して各管轄地域 (英国や米国が含まれますが、この限りではありません) に適用される法律および規則に基づいたパークレイズ・バンク・ピーエルシーの義務がありますが、それ以外には、当グループは、新しい情報や将来の事象等により、またはそれ以外の理由により、将来に関する記述のアップデートを公表したり改訂したりする義務を負いません。

## 財務レビュー

### バークレイズ・バンク・グループ概要

バークレイズ・バンク・ピーエルシーは、バークレイズ・グループ内のノン・リングフェンス銀行です。バークレイズ・バンク・グループは、バークレイズ UK コーポレート・バンク(UKCB)、バークレイズ・プライベート・バンク・アンド・ウェルス・マネジメント(PBWM)、バークレイズ・インベストメント・バンク(IB)、バークレイズ US コンシューマー・バンク(USCB)から構成されます。バークレイズ・バンク・ピーエルシーは、コンシューマー・バンキングとホールセール・バンキングにまたがる幅広い商品やサービスを顧客とクライアントに提供しています。

### バークレイズ・バンク・グループの業績(半期)

	2025 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)	2024 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)	増減率(%)
収益合計	11,082	9,694	14
営業費用	(6,255)	(6,065)	(3)
英国の規制上の賦課金	(53)	(66)	20
訴訟および特定行為	(59)	(56)	(5)
営業費用合計	(6,367)	(6,187)	(3)
その他の収益純額	—	1	
減損前利益	4,715	3,508	34
信用に係る減損費用	(875)	(831)	(5)
税引前利益	3,840	2,677	43
税金費用	(778)	(520)	(50)
税引後利益	3,062	2,157	42
以下に帰属するもの:			
親会社の株主	2,675	1,735	54
その他の持分商品保有者	387	422	(8)
株主帰属利益	3,062	2,157	42

	2025 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)	増減率(%)
貸借対照表関連の情報			
現金および中央銀行預け金	2,001	1,804	11
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,333	1,360	(2)
トレーディング・ポートフォリオ資産	1,862	1,662	12
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産	2,166	1,918	13
デリバティブ金融資産	2,797	2,924	(4)
資産合計	12,973	12,185	6
顧客預り金(償却原価ベース)	3,067	3,061	—
公正価値で測定すると指定された金融負債	3,158	2,798	13
デリバティブ金融負債	2,653	2,793	(5)

	2025 年 6 月 30 日現在	2024 年 12 月 31 日現在
資本および流動性メトリックス		
普通株式 Tier1(CET1)比率 <sup>1,2</sup>	12.7 %	12.1 %
リスク調整後資産(RWA)合計(億ポンド) <sup>1,2</sup>	2,191	2,236
英国のレバレッジ比率(サブ連結ベース) <sup>2,4</sup>	5.6 %	5.8 %
バークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループにおける流動性プール(億ポンド)	2,202	1,793
バークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループにおける流動性カバレッジ比率 <sup>3</sup>	153.8 %	147.9 %
安定調達比率	114.2 %	111.9 %

1 バークレイズ・バンク・ピーエルシーの自己資本および RWA は、ソロ・コンソリデーション・ベースにて健全性規制機構(PRA)の規制を受けています。上記の開示は、ソロ・コンソリデーション・ベースのバークレイズ・バンク・ピーエルシーの資本メトリックスを示しています。詳細については、英語原文 23 ページの「トレジャリー・リスクおよび資本リスク」をご参照ください。

2 資本、RWA およびレバレッジの 2024 年の比較数値は、CRR に基づく IFRS 第 9 号の経過措置を適用して算出されています。2025 年 1 月 1 日より、これらの IFRS 第 9 号の経過措置は適用されなくなります。詳細については、英語原文 23 ページの「トレジャリー・リスクおよび資本リスク」をご参照ください。

3 月末のスプレッド・レシオの直近 12 カ月平均を表します。バークレイズ・バンク・ピーエルシーは、2025 年 6 月より、流動性カバレッジ比率(LCR)における担保付資金調達取引に関連するストレス時の純流出額を計算するための新しい手法を、将来に向かって導入しています。さらに、この新しい手法とは別の、特定の担保付

## 財務レビュー

---

資金調達取引からの流出額の計算方法の変更を反映するために、LCR の過年度の比較数値は修正再表示されています。詳細は英語原文 21 ページをご参照ください。

- 4 バークレイズ・バンク・ピーエルシーのレバレッジの最低要件はサブ連結ベースで設定されており、その結果、上記のレバレッジはバークレイズ・バンク・ピーエルシーのサブ連結ベースで開示されています。詳細については、英語原文 23 ページの「トレジャリー・リスクおよび資本リスク」をご参照ください。

### 損益計算書 - 2025 年度上半期と 2024 年度上半期の比較

パークレイズ・バンク・グループの税引前利益は、IB のグローバル・マーケットの収益増加と、前年度に本社において発生したイタリアのモーゲージ・ポートフォリオの売却損が当年度は発生しなかったことにより、43%増加して 3,840 百万ポンドとなりました。

パークレイズ・バンク・グループは、米国における重要なプレゼンスを含め、事業や地域を超えた多様な収益プロファイルを有しています。米ドルに対して英ポンド平均が上昇したことが収益および利益にマイナスの影響を与えた一方、信用に係る減損費用および営業費用合計にはプラスの影響を及ぼしました。

パークレイズ・バンク・グループの報告セグメント別の業績については、注記 2「セグメント別報告」をご参照ください。

- **収益合計は 14%増の 11,082 百万ポンド(2024 年度上半期:9,694 百万ポンド)となりました。**
  - IB の収益は、ボラティリティと顧客活動の増加によるグローバル・マーケットにおける収益増加と国際・コーポレート・バンクにおける預金残高増加による収益増加により、12%増加して 7,353 百万ポンド(2024 年度上半期:6,559 百万ポンド)となりました。これは、主に株式発行市場における前年同期の好調な数値(2024 年度第 2 四半期の英国の大型ライツ・イシューで計上された手数料が含まれます)と比較してインベストメント・バンキングの収益が減少したことにより、部分的に相殺されました。全体的な増加は為替の不利な影響を反映したものです。
  - UKCB の収益は、平均預金残高と貸出残高の増加、および構造的ヘッジ収益の増加により、13%増加して 1,035 百万ポンド(2024 年度上半期:912 百万ポンド)となりました。
  - USCB の収益は、事業成長と購買活動の増加があったものの、為替変動の影響により一部相殺され、1%増加して 1,701 百万ポンド(2024 年度上半期:1,691 百万ポンド)となりました。
  - PBWM の収益は、預金、投資資産、貸出金残高の増加(新規流入純額と市場動向による)と取引活動の増加により、11%増加して 717 百万ポンド(2024 年度上半期:648 百万ポンド)となりました。
  - 本社の収益は、276 百万ポンド(2024 年度上半期:116 百万ポンドの費用)に増加しましたが、これは主に前年度のイタリアのモーゲージ・ポートフォリオの売却損が当年度は発生しなかったことと、ヘッジ会計上の利益によって収益が増加したことによるものです。当該増加は、2025 年度第 1 四半期のドイツのコンシューマー・ファイナンス事業の売却の影響によって部分的に相殺されました。
- **営業費用合計は 3%増加して 6,367 百万ポンド(2024 年度上半期:6,187 百万ポンド)となりました。**これは、投資支出の増加とインフレの逆風の影響によるもので、効率化と為替変動のプラスの影響により一部相殺されました。
- **信用に係る減損費用は 875 百万ポンド(2024 年度上半期:831 百万ポンド)となりました。**これは、米国カードの延滞が概ね安定していることと米国のマクロ経済の不確実性の高まりによるもので、2025 年度第 1 四半期に計上されたモデル調整後費用およびインベストメント・バンクにおけるシングル・ネームに係る費用が含まれます。USCB のトータル・カバレッジ比率は 11.6%(2024 年 12 月:11.4%)でした。
- **実効税率(ETR)は 20.3%(2024 年度上半期:19.4%)でした。**



### 2025 年 6 月 30 日と 2024 年 12 月 31 日の比較

- 現金および中央銀行預け金は、各事業における預金の増加とホールセール資金調達増加により 197 億ポンド増加して 2,001 億ポンドとなりました。
- 顧客に対する貸付金(償却原価ベース)は、UKCB の顧客向け貸付が増加したものの、米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により相殺されたため、27 億ポンド減少して 1,333 億ポンドとなりました。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は、グローバル・マーケットにおけるクライアント需要の促進を受けた債券取引活動の増加により、200 億ポンド増加して 1,862 億ポンドとなりました。これは、米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により一部相殺されました。
- 損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産は、担保付貸付の増加を受けて、248 億ポンド増加して 2,166 億ポンドとなりました。これは、米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により一部相殺されました。公正価値で測定すると指定された金融負債は、担保付借入の増加により、360 億ポンド増加して 3,158 億ポンドとなりました。これは、米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により一部相殺されました。
- デリバティブ金融資産および負債は、主に FX デリバティブの時価評価額の減少と米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により、資産は 127 億ポンド減少して 2,797 億ポンド、負債は 140 億ポンド減少して 2,653 億ポンドとなりました。これは、エキイティ・デリバティブの増加により一部相殺されました。
- 顧客に対する預り金(償却原価ベース)は、各事業における預金の増加により、6 億ポンド増加して 3,067 億ポンドとなりました。これは、米ドルに対するスポット英ポンドの上昇により一部相殺されました。
- 2025 年 6 月 30 日現在のソロ・コンソリデーション・ベースのパークレイズ・バンク・ピーエルシーの CET1 比率は 12.7% (2024 年 12 月:12.1%)となり、規制上の最低自己資本要件を上回っています。
- RWA は、主に米ドルに対してスポット英ポンドが上昇したことにより、45 億ポンド減少して 2,191 億ポンド(2024 年 12 月: 2,236 億ポンド)となりました。これは、顧客貸出限度額の引き上げと UKCB の貸出残高の増加により一部相殺されました。
- 流動性プールは、主に各事業における預金の増加とターム・ホールセール資金調達により、2,202 億ポンド(2024 年 12 月: 1,793 億ポンド)に増加しました。パークレイズ・バンク・ピーエルシーの国内流動性サブグループ(DoL サブグループ)における流動性カバレッジ比率(LCR)は、規制上の要件である 100%を大幅に上回る 153.8%(2024 年 12 月:147.9%)を維持しました。

### その他の事項

- ドイツのコンシューマー・ファイナンス事業の売却:**2025 年度第 1 四半期において、パークレイズ・バンク・アイルランド・ピーエルシーは、ドイツのコンシューマー・ファイナンス事業の BAWAG P.S.K(BAWAG Group AG の完全子会社)への売却完了を公表しました。
- 決済事業における長期戦略的パートナーシップ:**2025 年 4 月 17 日、パークレイズは、以前は加盟店取得事業と呼ばれていたパークレイズの決済事業の成長と変革のために、ブルックフィールド・アセット・マネジメント(Brookfield Asset Management Ltd)と長期的な戦略的提携を結んだことを発表しました。
- 英国退職基金(UKRF)への加入およびセクション化:**2025 年 6 月 30 日現在、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは UKRF の主たる雇用主であり、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーおよびパークレイズ・エグゼキューション・サービスズ・リミテッドが加入雇用主となっていました。2025 年 7 月 1 日より、UKRF は、2000 年金融サービス・市場法(銀行改革)(年金)規則 2015 の要件を満たすためにセクション別制度に改定され、パークレイズ・バンクとパークレイズ UK の各セクションが設定されました。当該日以降、パークレイズ・バンク・ピーエルシーがパークレイズ・バンク・セクションの主たる雇用主となり、パークレイズ・エグゼキューション・サービスズ・リミテッドが加入雇用主となり、パークレイズ UK セクションに対するあらゆるエクスポージャーがなくなりました。詳細については、注記 8「退職給付」をご参照ください。



- **金融犯罪に関するシステムおよび統制、ならびにマネーロンダリング規制の遵守状況に関する英国金融行為規制機構(UK FCA)の調査:**UK FCA は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーのマネーロンダリング規制ならびに UK FCA のマネーロンダリング防止ならびに金融犯罪に関するシステムおよび統制についての業務原則および規則の遵守状況について、民事執行調査を行いました。UK FCA のパークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する調査は、主にリスクの高い顧客に対する過去の監督と管理を中心に実施されました。2025 年 7 月、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは調査を解決するために UK FCA と 39 百万ポンドで和解することに合意しました。UK FCA は、本件に関するパークレイズ・バンク・ピーエルシーの協力を認め、本件は終了しました。
- **自動車金融:**2025 年度上半期において、パークレイズの自動車金融に係る引当金に変更はありませんでした。法的小および規制上の結果、ならびに必要な場合の是正措置の性質、範囲および時期は依然として不確実であり、したがって、最終的な財務上の影響は引当金額と大幅に異なる可能性があります。詳細については、英語原文 44 ページの注記 11「法律、競争および当局関連」に記載されています。

## リスク管理

---

### リスク管理および主要リスク

リスクおよび法令順守を含むリスク管理におけるバークレイズ・バンク・グループの役割と責任は、全社的リスク管理フレームワーク(ERMF)で定義されています。ERMF の目的はバークレイズ・バンク・グループの主要リスクや、事業活動におけるリスク選好度を決定するバークレイズ・バンク・グループのプロセス、およびその結果として関連するリスク・テイクングに関して設定する上限を特定することです。

ERMF は信用リスク、市場リスク、トレジャリー・リスクおよび資本リスク、気候リスク、オペレーショナル・リスク、モデル・リスク、コンプライアンス・リスク、金融犯罪リスク、レピュテーション・リスクおよび法的リスクの 10 の主要リスクを特定しています。これらの主要リスクと重大な既存リスクおよび新興リスクの詳細、ならびにそのリスク管理手法については、[home.barclays/annualreport](https://home.barclays/annualreport) で公開されている、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書をご覧ください。当期において、これらの主要リスクおよび以前に特定された重大な既存リスクおよび新興リスクに大きな変化はなく、これらのリスクは当年度の残りの 6 カ月についても同様であると見込まれます。

以下のセクションでは、当期の信用リスク、市場リスク、ならびにトレジャリー・リスクおよび資本リスクの概要を説明します。

## 信用リスク

### 商品別の貸付金(償却原価ベース)

信用リスクのセクションにおける貸付金(償却原価ベース)合計には、銀行に対する貸付金(償却原価ベース)および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)が含まれます。

下表は、貸付金(償却原価ベース)および減損引当金のステージ別の商品の内訳を示しています。下表には、債券のステージ別配分も示されています。

IFRS 第 9 号に基づく減損引当金では、実行済みと未実行の両方のカウンターパーティ・エクスポージャーを考慮します。リテール・ポートフォリオでは、減損引当金の合計が、引当金の実行済みのエクスポージャーを超えない範囲で貸付金の総額に配分され、超過額が貸借対照表の負債の部に引当金として計上されます。ホールセール・ポートフォリオでは、未実行のエクスポージャーに対する減損引当金が、貸借対照表の負債の部に引当金として計上されます。

2025 年 6 月 30 日現在	ステージ 2						ステージ 3	合計 <sup>1</sup>
	ステージ 1	期日未到 30 日以上 30 日未満			合計			
		来	延滞	延滞				
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
エクスポージャー総額								
リテール・モーゲージ	4,605	59	—	42	101	254		4,960
リテール・クレジットカード	15,975	2,231	227	205	2,663	1,615		20,253
リテールその他	3,582	126	108	26	260	194		4,036
コーポレート・ローン	106,426	7,651	72	92	7,815	1,864		116,105
貸付金(償却原価ベース)合計	130,588	10,067	407	365	10,839	3,927		145,354
債券(償却原価ベース)	53,918	708	—	—	708	—		54,626
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	184,506	10,775	407	365	11,547	3,927		199,980
減損引当金								
リテール・モーゲージ	5	—	—	—	—	22		27
リテール・クレジットカード	297	541	91	119	751	1,323		2,371
リテールその他	12	3	—	—	3	20		35
コーポレート・ローン	150	249	4	8	261	407		818
貸付金(償却原価ベース)合計	464	793	95	127	1,015	1,772		3,251
債券(償却原価ベース)	10	11	—	—	11	—		21
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	474	804	95	127	1,026	1,772		3,272
エクスポージャー純額								
リテール・モーゲージ	4,600	59	—	42	101	232		4,933
リテール・クレジットカード	15,678	1,690	136	86	1,912	292		17,882
リテールその他	3,570	123	108	26	257	174		4,001
コーポレート・ローン	106,276	7,402	68	84	7,554	1,457		115,287
貸付金(償却原価ベース)合計	130,124	9,274	312	238	9,824	2,155		142,103
債券(償却原価ベース)	53,908	697	—	—	697	—		54,605
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	184,032	9,971	312	238	10,521	2,155		196,708
カバレッジ比率	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		(%)
リテール・モーゲージ	0.1	—	—	—	—	8.7		0.5
リテール・クレジットカード	1.9	24.2	40.1	58.0	28.2	81.9		11.7
リテールその他	0.3	2.4	—	—	1.2	10.3		0.9
コーポレート・ローン	0.1	3.3	5.6	8.7	3.3	21.8		0.7
貸付金(償却原価ベース)合計	0.4	7.9	23.3	34.8	9.4	45.1		2.2
債券(償却原価ベース)	—	1.6	—	—	1.6	—		—
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	0.3	7.5	23.3	34.8	8.9	45.1		1.6

## 信用リスク

1 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産には、現金担保および決済残高、リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその他資産が含まれます。これらのエクスポージャー総額の合計は 2,012 億ポンド、減損引当金は 144 百万ポンドです。これには、ステージ 1 のエクスポージャー2,002 億ポンドに対する 21 百万ポンドの減損引当金、ステージ 2 のエクスポージャー9 億ポンドに対する 4 百万ポンドの減損引当金、およびステージ 3 のエクスポージャー124 百万ポンドに対する 119 百万ポンドの減損引当金が含まれます。ローン・コミットメントおよび金融保証契約に係る減損引当金は 405 百万ポンドです。

2024 年 12 月 31 日現在	ステージ 2						合計 <sup>1</sup>
	ステージ 1	期日未到 30 日以上		30 日未満	合計	ステージ 3	
		来	延滞	延滞			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
エクスポージャー総額							
リテール・モーゲージ	4,537	9	—	141	150	310	4,997
リテール・クレジットカード	17,629	2,449	256	248	2,953	1,724	22,306
リテールその他	3,329	177	157	70	404	216	3,949
コーポレート・ローン	107,194	7,944	137	66	8,147	1,654	116,995
貸付金(償却原価ベース)合計	132,689	10,579	550	525	11,654	3,904	148,247
債券(償却原価ベース)	47,077	3,170	—	—	3,170	—	50,247
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	179,766	13,749	550	525	14,824	3,904	198,494
減損引当金							
リテール・モーゲージ	8	1	—	—	1	32	41
リテール・クレジットカード	334	552	105	150	807	1,416	2,557
リテールその他	5	1	—	—	1	25	31
コーポレート・ローン	144	240	6	8	254	393	791
貸付金(償却原価ベース)合計	491	794	111	158	1,063	1,866	3,420
債券(償却原価ベース)	9	11	—	—	11	—	20
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	500	805	111	158	1,074	1,866	3,440
エクスポージャー純額							
リテール・モーゲージ	4,529	8	—	141	149	278	4,956
リテール・クレジットカード	17,295	1,897	151	98	2,146	308	19,749
リテールその他	3,324	176	157	70	403	191	3,918
コーポレート・ローン	107,050	7,704	131	58	7,893	1,261	116,204
貸付金(償却原価ベース)合計	132,198	9,785	439	367	10,591	2,038	144,827
債券(償却原価ベース)	47,068	3,159	—	—	3,159	—	50,227
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	179,266	12,944	439	367	13,750	2,038	195,054
カバレッジ比率	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
リテール・モーゲージ	0.2	11.1	—	—	0.7	10.3	0.8
リテール・クレジットカード	1.9	22.5	41.0	60.5	27.3	82.1	11.5
リテールその他	0.2	0.6	—	—	0.2	11.6	0.8
コーポレート・ローン	0.1	3.0	4.4	12.1	3.1	23.8	0.7
貸付金(償却原価ベース)合計	0.4	7.5	20.2	30.1	9.1	47.8	2.3
債券(償却原価ベース)	—	0.3	—	—	0.3	—	—
債券を含む貸付金(償却原価ベース)合計	0.3	5.9	20.2	30.1	7.2	47.8	1.7

1 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産には、現金担保および決済残高、リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその他資産が含まれます。これらのエクスポージャー総額の合計は 1,696 億ポンド、減損引当金は 150 百万ポンドです。これには、ステージ 1 のエクスポージャー1,683 億ポンドに対する 17 百万ポンドの減損引当金、ステージ 2 のエクスポージャー11 億ポンドに対する 7 百万ポンドの減損引当金、およびステージ 3 のエクスポージャー130 百万ポンドに対する 126 百万ポンドの減損引当金が含まれます。ローン・コミットメントおよび金融保証契約に係る減損引当金は 420 百万ポンドです。

## 信用リスク

### エクスポージャー総額および減損引当金の変動(ローン・コミットメントおよび金融保証に係るエクスポージャーおよび減損引当金を含みます)

下表は、エクスポージャー総額および減損引当金の期首残高から期末残高への調整を示しています。

下表のステージ間の振替は当期首に実施したものとして反映しています。「エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額」には、既存ファシリティの追加引き出しおよび一部返済が含まれます。また、下表には、債券(償却原価ベース)、リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付、現金担保および決済残高、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ならびにその他の資産といった、減損の対象となるその他の金融資産は含まれていません。

変動期間は 6 カ月間として測定されています。

#### 貸付金(償却原価ベース)

	ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3		合計	
	エクスポージャー総額	ECL	エクスポージャー総額	ECL	エクスポージャー総額	ECL	エクスポージャー総額	ECL
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>リテール・モーゲージ</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	4,537	8	150	1	310	32	4,997	41
ステージ 1 からステージ 2 への振替	(82)	—	82	—	—	—	—	—
ステージ 2 からステージ 1 への振替	117	—	(117)	—	—	—	—	—
ステージ 3 への振替	(19)	—	(20)	—	39	—	—	—
ステージ 3 からの振替	47	2	13	—	(60)	(2)	—	—
当期の事業活動	275	—	—	—	22	—	297	—
計算に使用したモデルの改良	—	—	—	—	—	—	—	—
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	66	(5)	2	—	(11)	6	57	1
最終返済額	(336)	—	(8)	—	(29)	(1)	(373)	(1)
処分 <sup>1</sup>	—	—	(1)	(1)	(9)	(5)	(10)	(6)
償却	—	—	—	—	(8)	(8)	(8)	(8)
2025 年 6 月 30 日現在	4,605	5	101	—	254	22	4,960	27
<b>リテール・クレジットカード</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	17,629	334	2,953	807	1,724	1,416	22,306	2,557
ステージ 1 からステージ 2 への振替	(1,181)	(40)	1,181	40	—	—	—	—
ステージ 2 からステージ 1 への振替	884	198	(884)	(198)	—	—	—	—
ステージ 3 への振替	(195)	(9)	(524)	(231)	719	240	—	—
ステージ 3 からの振替	5	4	5	4	(10)	(8)	—	—
当期の事業活動	625	12	29	9	—	—	654	21
計算に使用したモデルの改良 <sup>2</sup>	—	14	—	(47)	—	1	—	(32)
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	(1,760)	(214)	(91)	368	(204)	257	(2,055)	411
最終返済額	(32)	(2)	(6)	(1)	—	—	(38)	(3)
処分 <sup>1</sup>	—	—	—	—	(173)	(142)	(173)	(142)
償却	—	—	—	—	(441)	(441)	(441)	(441)
2025 年 6 月 30 日現在	15,975	297	2,663	751	1,615	1,323	20,253	2,371

<sup>1</sup> リテール・モーゲージにおいて報告される処分総額 10 百万ポンドは、イタリアのモーゲージ・ローンの売却に関連しています。リテール・クレジットカードにおいて報告される処分総額 173 百万ポンドは、当期中に行った債権の売却に関連するものです。

<sup>2</sup> リテール・クレジットカードにおいて報告される計算に使用したモデルの改良には、米国カード・ポートフォリオについて計算された ECL の変動(32)百万ポンドが含まれています。これらは、当期中のモデルの改良を反映しています。パークレイズは、ECL の計算の正確性を測定するためにモデルのアウトプットを継続的にレビューしています。これには、モデルのモニタリングに対するレビュー、外部のベンチマーキングや長期にわたるモデル運用等が含まれます。これにより、使用するモデルに事業の固有リスクを継続して反映することができます。

## 信用リスク

	ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3		合計	
	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)
<b>リテールその他</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	3,329	5	404	1	216	25	3,949	31
ステージ 1 からステージ 2 への振替	(112)	—	112	—	—	—	—	—
ステージ 2 からステージ 1 への振替	63	—	(63)	—	—	—	—	—
ステージ 3 への振替	(22)	—	(30)	—	52	—	—	—
ステージ 3 からの振替	23	1	—	—	(23)	(1)	—	—
当期の事業活動	895	—	—	—	5	—	900	—
計算に使用したモデルの改良	—	—	—	—	—	—	—	—
エクスポージャーおよびリスク・パラメータの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	774	8	86	2	58	4	918	14
最終返済額	(1,368)	(2)	(249)	—	(111)	(5)	(1,728)	(7)
処分	—	—	—	—	—	—	—	—
償却	—	—	—	—	(3)	(3)	(3)	(3)
2025 年 6 月 30 日現在	3,582	12	260	3	194	20	4,036	35
<b>コーポレート・ローン</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	107,194	144	8,147	254	1,654	393	116,995	791
ステージ 1 からステージ 2 への振替	(1,916)	(9)	1,916	9	—	—	—	—
ステージ 2 からステージ 1 への振替	1,582	32	(1,582)	(32)	—	—	—	—
ステージ 3 への振替	(263)	(2)	(317)	(22)	580	24	—	—
ステージ 3 からの振替	63	1	11	1	(74)	(2)	—	—
当期の事業活動	16,262	22	1,236	26	290	20	17,788	68
計算に使用したモデルの改良 <sup>1</sup>	—	(8)	—	(6)	—	—	—	(14)
エクスポージャーおよびリスク・パラメータの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	267	(16)	(166)	66	(174)	158	(73)	208
最終返済額	(16,762)	(13)	(1,428)	(33)	(166)	(40)	(18,356)	(86)
処分 <sup>2</sup>	(1)	(1)	(2)	(2)	(121)	(21)	(124)	(24)
償却	—	—	—	—	(125)	(125)	(125)	(125)
2025 年 6 月 30 日現在	106,426	150	7,815	261	1,864	407	116,105	818

1 コーポレート・ローンにおいて報告される計算に使用したモデルの改良には、IB ポートフォリオについて計算された ECL の変動(14)百万ポンドの変動が含まれています。これらは、当期中のモデルの改良を反映しています。パークレイズは、ECL の計算の正確性を測定するためにモデルのアウトプットを継続的にレビューしています。これには、モデルのモニタリングに対するレビュー、外部のベンチマーキングや長期にわたるモデル運用等が含まれます。これにより、使用するモデルに事業の固有リスクを継続して反映することができます。

2 コーポレート・ローンにおいて報告される処分総額 124 百万ポンドは、当期に行った債券の売却に関連するものです。

## 信用リスク

当期における ECL の変動から減損費用／(戻入)への調整

	ステージ 1 (百万ポ ンド)	ステージ 2 (百万ポ ンド)	ステージ 3 (百万ポ ンド)	合計 (百万ポ ンド)
リテール・モーゲージ	(3)	—	3	—
リテール・クレジットカード	(37)	(56)	490	397
リテールその他	7	2	(2)	7
コーポレート・ローン	7	9	160	176
<b>処分および償却を除く ECL の変動<sup>1</sup></b>	(26)	(45)	651	580
ローン・コミットメントおよびその他の金融保証契約に係る ECL の変動	(4)	(7)	(4)	(15)
その他の金融資産に係る ECL の変動	4	(3)	(7)	(6)
債券(償却原価ベース)に係る ECL の変動	1	—	—	1
回収および償還 <sup>2</sup>	(3)	(16)	(54)	(73)
売却目的保有資産に係る ECL 費用 <sup>3</sup>				105
為替およびその他の調整合計				283
<b>当期における損益計算書計上額合計</b>				<b>875</b>

1 2025 年度上半期の償却総額は 577 百万ポンド(2024 年度上半期:585 百万ポンド)、償却後戻入額は 21 百万ポンド(2024 年度上半期:14 百万ポンド)でした。償却総額から償却後戻入額を差し引いた償却純額は 556 百万ポンド(2024 年度上半期:571 百万ポンド)でした。

2 回収および償還には、バークレイズ・バンク・グループが、特定資産に対する信用保護のため第三者との間で締結した金融保証契約に基づき受領が見込まれる返済額 52 百万ポンド(2024 年度上半期:18 百万ポンド)および過去に償却された金額の現金回収額 21 百万ポンド(2024 年度上半期:14 百万ポンド)が含まれます。

3 売却目的保有資産に係る ECL 費用は、USCB における提携カード・ポートフォリオおよびドイツのコンシューマー・ファイナンス事業に対する費用に関連しています。



## 信用リスク

### ローン・コミットメントおよび金融保証<sup>1</sup>

	ステージ 1		ステージ 2		ステージ 3		合計	
	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)	エクスポージャー総額 (百万ポンド)	ECL (百万ポンド)
<b>リテール・モーゲージ</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	18	—	—	—	1	—	19	—
ステージ間の振替純額	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度の事業活動	—	—	—	—	5	—	5	—
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	(8)	—	—	—	—	—	(8)	—
限度額管理および最終返済額	(2)	—	—	—	—	—	(2)	—
2025 年 6 月 30 日現在	8	—	—	—	6	—	14	—
<b>リテール・クレジットカード</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	112,645	34	1,648	15	10	1	114,303	50
ステージ間の振替純額	(989)	6	989	(6)	—	—	—	—
当年度の事業活動	7,095	5	36	1	—	—	7,131	6
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	(7,716)	(11)	(1,071)	9	—	(1)	(8,787)	(3)
限度額管理および最終返済額	(5,887)	(4)	(110)	(3)	—	—	(5,997)	(7)
処分 <sup>2</sup>	(5,203)	—	(217)	—	(10)	—	(5,430)	—
2025 年 6 月 30 日現在	99,945	30	1,275	16	—	—	101,220	46
<b>リテールその他</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	3,970	5	103	—	11	—	4,084	5
ステージ間の振替純額	(13)	—	12	—	1	—	—	—
当年度の事業活動	363	—	—	—	—	—	363	—
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	196	(3)	(1)	—	(6)	—	189	(3)
限度額管理および最終返済額	(565)	—	(25)	—	(3)	—	(593)	—
処分 <sup>2</sup>	(743)	—	(30)	—	(1)	—	(774)	—
2025 年 6 月 30 日現在	3,208	2	59	—	2	—	3,269	2
<b>コーポレート・ローン</b>								
2025 年 1 月 1 日現在	229,565	116	15,079	225	954	24	245,598	365
ステージ間の振替純額	(70)	23	(98)	(22)	168	(1)	—	—
当年度の事業活動	52,611	23	1,166	31	68	—	53,845	54
エクスポージャーおよびリスク・パラメーターの変更による資金引き出し純額、返済、再測定および変動純額	(4,388)	(29)	(1,178)	21	(261)	—	(5,827)	(8)
限度額管理および最終返済額	(49,930)	(14)	(1,983)	(38)	(163)	(2)	(52,076)	(54)
2025 年 6 月 30 日現在	227,788	119	12,986	217	766	21	241,540	357

<sup>1</sup> 報告されるローン・コミットメントには、売却目的保有として分類される金融資産も含まれます。

<sup>2</sup> リテール・クレジットカードおよびリテールその他において報告される処分総額は、ドイツのコンシューマー・ファイナンス事業に関連しており、当該売却は 2025 年度第 1 四半期に完了しました。

## 信用リスク

### 減損モデルに対するマネジメント調整

減損モデルに対するマネジメント調整は、減損モデルに完全に組み込まれていない特定の条件または方針の変更を組み込むため、もしくは期末日における他の事実関係や状況を反映するために使用されます。マネジメント調整は、適宜見直され、将来のモデル開発に組み込まれます。

マネジメント調整は、「経済の不確実性に関する調整」と「その他の調整」を通じて捕捉され、以下の商品別に表示されます。

### 減損引当モデルに対するマネジメント調整の商品別内訳<sup>1</sup>

	マネジメント調整 整前の減損引 経済上の不確実 当金 <sup>2</sup> 性に係る調整			マネジメント調整 <sup>3</sup>	減損引当金合計 <sup>4</sup>	減損引当金合計 に占めるマネジメント調整の割合
	(百万ポンド)	(a) (百万ポンド)	(b) (百万ポンド)	(a+b) (百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)
2025 年 6 月 30 日現在						
リテール・モーゲージ	24	—	3	3	27	11.1
リテール・クレジットカード <sup>5</sup>	2,387	30	—	30	2,417	1.2
リテールその他	37	—	—	—	37	—
コーポレート・ローン <sup>5</sup>	1,187	48	(60)	(12)	1,175	(1.0)
合計	3,635	78	(57)	21	3,656	0.6
債券(償却原価ベース)	20	1	—	1	21	4.8
債券(償却原価ベース)を含む合計	3,655	79	(57)	22	3,677	0.6
2024 年 12 月 31 日現在						
リテール・モーゲージ	38	—	3	3	41	7.3
リテール・クレジットカード	2,630	—	(23)	(23)	2,607	(0.9)
リテールその他	32	—	4	4	36	11.1
コーポレート・ローン	1,162	—	(6)	(6)	1,156	(0.5)
合計	3,862	—	(22)	(22)	3,840	(0.6)
債券(償却原価ベース)	27	—	(7)	(7)	20	(35.0)
債券(償却原価ベース)を含む合計	3,889	—	(29)	(29)	3,860	(0.8)

### 経済の不確実性に関する調整のステージ別内訳

	ステージ 1 (百万ポンド)	ステージ 2 (百万ポンド)	ステージ 3 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2025 年 6 月 30 日現在				
リテール・モーゲージ	—	—	—	—
リテール・クレジットカード	—	30	—	30
リテールその他	—	—	—	—
コーポレート・ローン	15	33	—	48
合計	15	63	—	78
債券(償却原価ベース)	1	—	—	1
債券(償却原価ベース)を含む合計	16	63	—	79

<sup>1</sup> 正の値は減損引当金の増加を、負の値は減損引当金の減少を反映しています。

<sup>2</sup> モデル化された ECL 34 億ポンド(2024 年 12 月:37 億ポンド)、個別評価減損 4 億ポンド(2024 年 12 月:3 億ポンド)、売却目的保有資産(提携カード・ポートフォリオ)に係る ECL (2)億ポンド(2024 年 12 月:(3)億ポンド)、ならびにモデル化されていないエクスポージャーおよび債券に係る ECL 1 億ポンド(2024 年 12 月:1 億ポンド)が含まれています。

<sup>3</sup> 上表に含まれていない減損の対象となるその他の金融資産に関連するマネジメント調整には、IB ポートフォリオにおける、現金担保および決済残高ゼロポンド(2024 年 12 月:(1)百万ポンド)、リバース・レボ取引 1 百万ポンド(2024 年 12 月:(2)百万ポンド)ならびにその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ゼロポンド(2024 年 12 月:(2)百万ポンド)が含まれます。

<sup>4</sup> 減損引当金合計は、実行済みと未実行の両方のエクスポージャーに係る ECL から構成されます。

<sup>5</sup> 87 百万ポンドの経済上の不確実性に係る調整は、USCB 36 百万ポンド(HFS 6 百万ポンドを含みます)および IB 51 百万ポンドに分割され、主にコーポレート・ローンとして報告されます。

## 信用リスク

### 経済上の不確実性に係る調整

経済の不確実性に関する調整は、2 つの方法で引き続き捕捉されます。1 つ目は顧客の不確実性で、経済不安の影響をより受けやすい顧客やクライアントを特定します。2 つ目はモデルの不確実性で、モデルの限界、およびポートフォリオ単位で適用される特定のマクロ経済パラメータに対する感応度の影響を捕捉します。

バークレイズ・バンク・グループは、特に米国における短期的なマクロ経済見通しの不確実性の高まりを引き続き注視しています。影響の範囲が広がることと不安定な地政学的シナリオが相まって、バークレイズ・バンク・グループの下方シナリオには、マクロ経済の不確実性を反映するために、モデル化された ECL のアウトプットで使用するものよりも大きな加重を適用する必要があると示唆されています。これに対応するため、当年度中に 87 百万ポンド (SRT 信用保護控除後 70 百万ポンド) の不確実性に係る PMA が導入されました。この調整は、マクロ経済変数に関する不確実性について、2025 年 6 月 30 日現在の貸借対照表に基づく特定の時点の影響を反映しています。顧客の利用状況の将来的な変化や、バークレイズ・バンク・グループが信用リスクを軽減するために行う可能性のある経営措置は考慮されていません。

2025 年 6 月 30 日現在の経済の不確実性に係る調整総額は 79 百万ポンド (2024 年 12 月:ゼロポンド)であり、主に顧客およびクライアントの不確実性に係る引当金 78 百万ポンド (2024 年 12 月:ゼロポンド)が含まれます。

- ・ リテール・クレジットカード 30 百万ポンド (2024 年 12 月:ゼロポンド)およびコーポレート・ローン 48 百万ポンド (2024 年 12 月:ゼロポンド):この調整は、米国のマクロ経済の不確実性の高まりに対応するために当年度に導入されました。

### その他の調整

その他の調整は経営上の性質のもので、基調的モデルに反映されるまで引き続き実施される予定です。これらの調整は、モデル・モニタリングやその他所定のガバナンス・プロセスで特定された、データの制限やモデルの性能に関する問題から生じるものです。

その他の調整合計(57)百万ポンド(2024 年 12 月:(29)百万ポンド)には、主に以下が含まれます。

- ・ リテール・クレジットカード ゼロポンド(2024 年 12 月:(23)百万ポンド):この変動は、当年度中のモデル修正に伴う、ハイ・リスク・アカウント・マネジメント(HRAM)勘定の米国カード・ポートフォリオの調整の廃止によるものです。
- ・ コーポレート・ローン (60)百万ポンド(2024 年 12 月:(6)百万ポンド):この変動は、モデルのモニタリング管理に支えられた、回復力のある顧客行動を起因とするデフォルト確率(PD)の過剰予測を修正するための再調整によるものです。
- ・ 債券 ゼロポンド(2024 年 12 月:(7)百万ポンド):この変動は、モデル修正に伴う調整の廃止によるものです。

## 信用リスク

### 測定の不確実性

バークレイズ・バンク・グループは、2025 年度第 2 四半期に ECL 費用の算出に用いるシナリオを刷新しました。ベースライン・シナリオにはその時点で入手可能であったマクロ経済に関する最新のコンセンサス予測を反映しました。ベースライン・シナリオでは、急速に変化する貿易政策や、米国の政権による関税導入の可能性とそれに対する各国政府の対応をめぐる不確実性が反映されています。先進国では国内需要が堅調に推移しますが、米国の関税引き上げとそれに対する報復措置が貿易の流れを阻害し、企業景況感を低下させ、投資活動を圧迫するため、世界経済の成長は緩やかに減速します。2025 年の GDP 成長率は、英国が 0.7%、米国が 1.9%になると予測されています。主要経済国の労働市場は、不確実性の高まりと輸出主導の活動の鈍化によりやや軟化します。ただし、その弱まりは限定的であり、現在の水準から大きく悪化することはありません。英国と米国の失業率は、それぞれ 4.7%と 4.6%でピークを迎えます。中央銀行は、関税による不確実性を考慮し、当初の予想よりも速いペースではあるものの、引き続き金融緩和を進めます。

下方シナリオは、米国が課した関税が貿易相手国からの報復措置を招き、消費者物価や投資心理に悪影響を及ぼすような貿易摩擦の激化を捉えるように調整されています。大規模な国外追放により米国の労働市場が混乱し、成長への下方リスクが高まります。さらに、企業は投資を控え、生産拠点の見直しや資材の備蓄を進めることで、世界のサプライチェーンは深刻な混乱に陥ります。価格の上昇により米国への輸入は大幅に減少し、報復措置によって輸出も減少します。貿易の影響と消費をめぐる不確実性が相まって、純輸出高の急減、企業心理の悪化、投資・消費の計画の保留が起こり、米国のみならず英国や欧州でも急激な景気後退が引き起こされます。外需の急激な落ち込みと企業投資の縮小により失業率が上昇し、雇用喪失は貿易依存度の高い業種（機械、自動車、耐久消費財）に集中し、サービス業にも波及します。米国連邦準備制度理事会（FRB）はインフレショックと実体経済の悪化のバランスを見極め、当初は金利を据え置きます。しかしながら、景気の悪化と労働市場の緩和が進むにつれ、総需要を刺激するために迅速に利下げを実施します。イングランド銀行も、デフレ環境と労働市場の緩和を受けて金融緩和を行います。

上方シナリオでは、労働力参加率の上昇と生産性の向上により、新たなインフレ圧力を伴わずに経済成長が加速します。中央銀行は金利を引き下げ、民間消費と投資を促進します。労働需要が増加し、失業率は安定し、再び低下し始めます。地政学的緊張が緩和されることで、低インフレが消費者の購買力を支え、健全な GDP 成長にさらに寄与します。力強い経済見通しと低金利は住宅価格の上昇を後押しし、金融市場の強気な動きを支えます。

シナリオの加重の見積りは、過去のデータを用いて英国と米国の GDP の将来パスを幅広くシミュレートし、その分布に基づいて 5 つのシナリオをマッピングする手法で算出されます。中央値はベースライン・シナリオを中心に設定されており、ベースライン・シナリオから離れるほど加重は低くなります。5 つのシナリオの加重は合計で 100%となるように標準化されています。下方シナリオ 1 の加重が増加したのは、ベースライン・シナリオにおける米国 GDP の悪化により、ベースライン・シナリオが下方シナリオに近づいたためですが、下方シナリオの深刻度が増したことによる影響によって一部相殺されました。詳細については、英語原文 17 ページをご参照ください。

バークレイズ・バンク・グループは、関税や貿易の不確実性、進行中の地政学的リスク等、不確実性の高まりが続いていることから、US コンシューマー・バンクおよびインベストメント・バンク全体で 70 百万ポンド（SRT<sup>1</sup> 信用保護控除後）の不確実性に係る調整を導入しました。これらの影響は、顧客行動にはまだ現れていません。詳細については、英語原文 13 ページをご参照ください。

下表は、5 つのシナリオで用いられる主要なマクロ経済変数（5 年間の年次のパス）および各シナリオに適用される加重を示しています。

1. 重要なリスク移転（SRT）は、リスク管理機能を強化するために使用されるリスク移転取引を表します。

## 信用リスク

### ECL の計算に用いたマクロ経済変数

2025 年 6 月 30 日現在 ベースライン・シナリオ	2025 年 (%)	2026 年 (%)	2027 年 (%)	2028 年 (%)	2029 年 (%)
英国 GDP <sup>1</sup>	0.7	1.2	1.5	1.6	1.7
英国失業率 <sup>2</sup>	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
英国 HPI <sup>3</sup>	2.1	2.3	2.3	3.5	3.9
英国基準金利 <sup>6</sup>	4.1	3.8	3.8	3.8	3.9
米国 GDP <sup>1</sup>	1.9	1.4	2.0	2.0	2.0
米国失業率 <sup>4</sup>	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6
米国 HPI <sup>5</sup>	2.8	2.0	2.0	2.0	2.0
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	4.3	3.6	3.6	3.8	3.8

#### 下方シナリオ 2

英国 GDP <sup>1</sup>	(0.2)	(3.4)	1.7	2.6	1.8
英国失業率 <sup>2</sup>	4.9	7.6	7.5	5.9	5.3
英国 HPI <sup>3</sup>	(9.4)	(20.6)	1.2	18.1	10.0
英国基準金利 <sup>6</sup>	4.0	1.4	0.2	0.8	1.5
米国 GDP <sup>1</sup>	0.9	(4.7)	(0.2)	2.3	2.3
米国失業率 <sup>4</sup>	4.6	7.3	7.8	6.4	5.8
米国 HPI <sup>5</sup>	(1.6)	(6.6)	3.6	9.1	4.7
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	4.5	4.1	2.4	1.4	1.2

#### 下方シナリオ 1

英国 GDP <sup>1</sup>	0.2	(1.1)	1.6	2.1	1.8
英国失業率 <sup>2</sup>	4.8	6.2	6.1	5.2	4.9
英国 HPI <sup>3</sup>	(3.7)	(9.6)	1.7	10.7	7.0
英国基準金利 <sup>6</sup>	4.1	3.1	2.2	2.3	2.7
米国 GDP <sup>1</sup>	1.4	(1.6)	0.9	2.1	2.1
米国失業率 <sup>4</sup>	4.5	5.9	6.2	5.5	5.2
米国 HPI <sup>5</sup>	0.5	(2.4)	2.8	5.5	3.4
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	4.3	3.9	2.9	2.6	2.6

#### 上方シナリオ 2

英国 GDP <sup>1</sup>	1.1	3.9	3.2	2.6	2.3
英国失業率 <sup>2</sup>	4.4	4.0	3.8	3.7	3.7
英国 HPI <sup>3</sup>	4.4	14.2	6.8	2.7	3.8
英国基準金利 <sup>6</sup>	4.1	3.1	2.5	2.6	2.9
米国 GDP <sup>1</sup>	2.3	3.1	2.9	2.8	2.8
米国失業率 <sup>4</sup>	4.2	3.9	3.9	3.9	3.9
米国 HPI <sup>5</sup>	5.2	4.3	5.3	4.9	4.9
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	4.1	2.9	2.8	2.8	2.8

#### 上方シナリオ 1

英国 GDP <sup>1</sup>	0.9	2.5	2.4	2.1	2.0
英国失業率 <sup>2</sup>	4.5	4.3	4.3	4.2	4.2
英国 HPI <sup>3</sup>	3.2	8.1	4.5	3.1	3.9
英国基準金利 <sup>6</sup>	4.1	3.4	3.3	3.3	3.4
米国 GDP <sup>1</sup>	2.1	2.3	2.4	2.4	2.4
米国失業率 <sup>4</sup>	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
米国 HPI <sup>5</sup>	4.0	3.1	3.7	3.4	3.4
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	4.3	3.3	3.3	3.5	3.5

1. 季節調整済実質 GDP 年平均値の変動。

2. 英国平均失業率(16 歳以上)。

3. 期末時点の英国 HPI 値の変動=ハリファックス・HPI Meth2・オール・ハウジズ、オール・バイヤーズ・インデックス。

4. 米国平均民間失業率(16 歳以上)。

5. 期末時点の米国 HPI 値の変動=FHFA 住宅価格指数(前年末比)。

6. 平均レート。

## 信用リスク

### ECL の計算に用いたマクロ経済変数

2024 年 12 月 31 日現在 ベースライン・シナリオ	2024 年 (%)	2025 年 (%)	2026 年 (%)	2027 年 (%)	2028 年 (%)
英国 GDP <sup>1</sup>	1.0	1.4	1.5	1.6	1.5
英国失業率 <sup>2</sup>	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4
英国 HPI <sup>3</sup>	2.8	3.3	1.6	4.5	3.0
英国基準金利 <sup>6</sup>	5.1	4.3	4.0	4.0	3.8
米国 GDP <sup>1</sup>	2.7	2.0	2.0	2.0	2.0
米国失業率 <sup>4</sup>	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2
米国 HPI <sup>5</sup>	6.5	2.6	2.7	3.0	3.0
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	5.1	4.1	4.0	3.8	3.8
下方シナリオ 2					
英国 GDP <sup>1</sup>	1.0	(2.3)	(1.3)	2.6	2.3
英国失業率 <sup>2</sup>	4.3	6.2	8.1	6.6	5.5
英国 HPI <sup>3</sup>	2.8	(24.8)	(5.2)	10.0	14.6
英国基準金利 <sup>6</sup>	5.1	3.5	1.7	0.6	1.1
米国 GDP <sup>1</sup>	2.7	(1.3)	(1.3)	3.3	2.9
米国失業率 <sup>4</sup>	4.1	5.8	7.2	6.2	5.5
米国 HPI <sup>5</sup>	6.5	(8.0)	(0.7)	5.2	4.0
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	5.1	2.5	0.6	0.8	1.5
下方シナリオ 1					
英国 GDP <sup>1</sup>	1.0	(0.5)	0.1	2.1	1.9
英国失業率 <sup>2</sup>	4.3	5.3	6.3	5.5	5.0
英国 HPI <sup>3</sup>	2.8	(11.6)	(1.8)	7.2	8.7
英国基準金利 <sup>6</sup>	5.1	3.9	2.9	2.3	2.4
米国 GDP <sup>1</sup>	2.7	0.3	0.4	2.7	2.4
米国失業率 <sup>4</sup>	4.1	5.1	5.7	5.2	4.9
米国 HPI <sup>5</sup>	6.5	(2.7)	1.0	4.1	3.5
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	5.1	3.4	2.3	2.3	2.7
上方シナリオ 2					
英国 GDP <sup>1</sup>	1.0	3.0	3.7	2.9	2.4
英国失業率 <sup>2</sup>	4.3	3.8	3.4	3.5	3.5
英国 HPI <sup>3</sup>	2.8	11.9	8.4	5.1	4.1
英国基準金利 <sup>6</sup>	5.1	3.9	2.9	2.8	2.8
米国 GDP <sup>1</sup>	2.7	2.8	3.1	2.8	2.8
米国失業率 <sup>4</sup>	4.1	3.8	3.5	3.5	3.5
米国 HPI <sup>5</sup>	6.5	6.2	4.7	4.8	4.9
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	5.1	3.7	3.3	3.1	2.8
上方シナリオ 1					
英国 GDP <sup>1</sup>	1.0	2.2	2.6	2.2	2.0
英国失業率 <sup>2</sup>	4.3	4.1	4.0	4.0	4.0
英国 HPI <sup>3</sup>	2.8	7.6	4.9	4.8	3.5
英国基準金利 <sup>6</sup>	5.1	4.1	3.5	3.4	3.3
米国 GDP <sup>1</sup>	2.7	2.4	2.6	2.4	2.4
米国失業率 <sup>4</sup>	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9
米国 HPI <sup>5</sup>	6.5	4.4	3.7	3.9	3.9
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>6</sup>	5.1	4.0	3.8	3.6	3.3

1. 季節調整済実質 GDP 年平均値の変動。
2. 英国平均失業率(16 歳以上)。
3. 期末時点の英国 HPI 値の変動=ハリファックス・オール・ハウジズ、オール・バイヤーズ・インデックス(前年末比)。
4. 米国平均民間失業率(16 歳以上)。
5. 期末時点の米国 HPI 値の変動=FHFA 住宅価格指数(前年末比)。
6. 平均レート。

## 信用リスク

### シナリオ確率の加重

	ベースライン・シナリオ				
	上方シナリオ 2	上方シナリオ 1	シナリオ	下方シナリオ 1	下方シナリオ 2
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2025 年 6 月 30 日現在					
シナリオ確率の加重	15.5	26.4	34.4	15.2	8.5
2024 年 12 月 31 日現在					
シナリオ確率の加重	17.4	26.8	32.5	14.7	8.6

特定ベースは、下方シナリオ／上方シナリオに照らした各変数の最も極端な値を示しています。例えば、下方シナリオでの最高の失業率、ベースライン・シナリオでの平均失業率、上方シナリオでの最低の失業率などです。GDP と HPI の下方および上方シナリオのデータは、20 四半期の開始時点との比較での累積ポジションの最低点と最高点を表しています。

### マクロ経済変数(特定ベース)<sup>1</sup>

	上方シナリオ 2	上方シナリオ 1	ベースライン・シナリオ	下方シナリオ 1	下方シナリオ 2
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2025 年 6 月 30 日現在					
英国 GDP <sup>2</sup>	14.5	10.9	1.3	(1.3)	(4.0)
英国失業率 <sup>3</sup>	3.7	4.2	4.6	6.5	8.4
英国 HPI <sup>4</sup>	35.8	25.0	2.8	(13.2)	(28.1)
英国基準金利 <sup>3</sup>	2.5	3.3	3.9	4.6	4.6
米国 GDP <sup>2</sup>	14.8	12.0	1.8	(1.4)	(5.3)
米国失業率 <sup>3</sup>	3.9	4.1	4.5	6.5	8.4
米国 HPI <sup>4</sup>	27.1	19.0	2.2	(2.2)	(8.4)
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>3</sup>	2.8	3.3	3.8	4.5	4.5
2024 年 12 月 31 日現在					
英国 GDP <sup>2</sup>	15.0	11.6	1.4	0.2	(2.9)
英国失業率 <sup>3</sup>	3.4	3.9	4.4	6.5	8.4
英国 HPI <sup>4</sup>	36.3	25.9	3.0	(11.3)	(26.8)
英国基準金利 <sup>3</sup>	2.8	3.3	4.2	5.3	5.3
米国 GDP <sup>2</sup>	14.9	12.8	2.2	0.4	(2.1)
米国失業率 <sup>3</sup>	3.5	3.8	4.2	5.9	7.5
米国 HPI <sup>4</sup>	30.1	24.4	3.5	1.1	(4.0)
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>3</sup>	2.8	3.3	4.2	5.3	5.3

1 英国 GDP＝季節調整済実質 GDP 成長率；英国失業率＝英国失業率（16 歳以上）；英国 HPI（2024 年 12 月 31 日現在）＝ハリファックス・オール・ハウジズ、オール・バイヤー・インデックス；英国 HPI（2025 年 6 月 30 日現在）＝ハリファックス・HPI Meth2・オール・ハウジズ、オール・バイヤー・インデックス；米国 GDP＝季節調整済実質 GDP 成長率；米国失業率＝米国民間失業率（16 歳以上）；米国 HPI＝FHFA 住宅価格指数。20 四半期は 2025 年度第 1 四半期（2024 年：2024 年度第 1 四半期）に開始。

2 上方シナリオでは 20 四半期ベースの 2024 年度第 4 四半期（2024 年：2023 年度第 4 四半期）に対する最大成長率、ベースライン・シナリオでは 5 年間の年平均成長率（CAGR）、下方シナリオでは 20 四半期ベースの 2024 年度第 4 四半期（2024 年：2023 年度第 4 四半期）に対する最低成長率。

3 上方シナリオでは 20 四半期のうち最低の四半期、ベースライン・シナリオでは 5 年平均、下方シナリオでは 20 四半期のうち最高の四半期。

4 上方シナリオでは 20 四半期ベースの 2024 年度第 4 四半期（2024 年：2023 年度第 4 四半期）に対する最大成長率、ベースライン・シナリオでは 5 年間の四半期末の CAGR、下方シナリオでは 20 四半期ベースの 2024 年度第 4 四半期（2024 年：2023 年度第 4 四半期）に対する最低成長率。



## 信用リスク

平均ベースは、20 四半期の各変数の平均四半期値であり、GDP および HPI はそれぞれ年平均および四半期 CAGR に基づいています。

### マクロ経済変数(5 年間の平均)<sup>1</sup>

上方シナリオ 2 上方シナリオ 1 ベースライン・シナリオ 下方シナリオ 1 下方シナリオ 2

2025 年 6 月 30 日現在	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
英国 GDP <sup>2</sup>	2.6	2.0	1.3	0.9	0.5
英国失業率 <sup>3</sup>	3.9	4.3	4.6	5.4	6.2
英国 HPI <sup>4</sup>	6.3	4.6	2.8	0.9	(1.1)
英国基準金利 <sup>3</sup>	3.0	3.5	3.9	2.9	1.6
米国 GDP <sup>2</sup>	2.8	2.3	1.8	1.0	0.1
米国失業率 <sup>3</sup>	3.9	4.2	4.5	5.4	6.4
米国 HPI <sup>4</sup>	4.9	3.5	2.2	1.9	1.7
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>3</sup>	3.1	3.6	3.8	3.3	2.7

### 2024 年 12 月 31 日現在

英国 GDP <sup>2</sup>	2.6	2.0	1.4	0.9	0.5
英国失業率 <sup>3</sup>	3.7	4.0	4.4	5.3	6.1
英国 HPI <sup>4</sup>	6.4	4.7	3.0	0.8	(1.6)
英国基準金利 <sup>3</sup>	3.5	3.9	4.2	3.3	2.4
米国 GDP <sup>2</sup>	2.9	2.5	2.2	1.7	1.2
米国失業率 <sup>3</sup>	3.7	3.9	4.2	5.0	5.8
米国 HPI <sup>4</sup>	5.4	4.5	3.5	2.4	1.2
米国フェデラル・ファンド金利 <sup>3</sup>	3.6	4.0	4.2	3.2	2.1

- 1 英国 GDP=季節調整済実質 GDP 成長率;英国失業率=英国失業率(16 歳以上);英国 HPI(2024 年 12 月 31 日現在)=ハリファックス・オール・ハウジズ、オール・バイヤー・インデックス;英国 HPI(2025 年 6 月 30 日現在)=ハリファックス・HPI Meth2・オール・ハウジズ、オール・バイヤー・インデックス;米国 GDP=季節調整済実質 GDP 成長率;米国失業率=米国民間失業率(16 歳以上);米国 HPI=FHFA 住宅価格指数。20 四半期は 2025 年度第 1 四半期(2024 年:2024 年度第 1 四半期)に開始。
- 2 2024 年(2024 年:2023 年)以降 5 年間の平均 CAGR。
- 3 5 年間の平均。2025 年度第 1 四半期(2024 年:2024 年度第 1 四半期)以降の 20 四半期を基準とした期間。
- 4 2024 年度第 4 四半期(2024 年:2023 年度第 4 四半期)以降 5 年間の四半期末時点の CAGR。

## 信用リスク

### 売却目的保有資産

この表は、売却目的保有資産に分類される USCB の提携カードのポートフォリオを表しています。さらに、ドイツのコンシューマー・ファイナンス事業の売却は 2025 年度第 1 四半期に完了しました。

#### 売却目的保有資産に分類される顧客に対する貸付金

	ステージ 1			ステージ 2			ステージ 3			合計		
	総額	ECL	割合	総額	ECL	割合	総額	ECL	割合	総額	ECL	割合
2025 年 6 月 30 日現在	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)
リテール・クレジットカードー米国	4,988	55	1.1	613	139	22.7	52	42	80.8	5,653	236	4.2
リテール・クレジットカードードイツ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
リテールその他ードイツ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
コーポレート・ローンー米国	43	1	2.3	7	2	28.6	1	1	100.0	51	4	7.8
合計	5,031	56	1.1	620	141	22.7	53	43	81.1	5,704	240	4.2

#### 2024 年 12 月 31 日現在

リテール・クレジットカードー米国	5,495	64	1.2	689	161	23.4	57	46	80.7	6,241	271	4.3
リテール・クレジットカードードイツ	1,908	18	0.9	307	29	9.4	93	69	74.2	2,308	116	5.0
リテールその他ードイツ	1,134	16	1.4	220	33	15.0	71	48	67.6	1,425	97	6.8
コーポレート・ローンー米国	49	1	2.0	9	3	33.3	1	1	100.0	59	5	8.5
合計	8,586	99	1.2	1,225	226	18.4	222	164	73.9	10,033	489	4.9

### 減損モデルに対するマネジメント調整

#### 減損モデルに対するマネジメント調整

	マネジメント調整 前の減損引当金	経済の不確実性 に関する調整 <sup>1</sup> (a)	その他の調整 (b)	マネジメント調整 (a+b)	減損引当金合計	減損引当金合計 に占めるマネジ メント調整の割 合
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(%)
2025 年 6 月 30 日現在						
リテール・クレジットカードー米国	235	6	—	6	241	2.5
リテール・クレジットカードードイツ	—	—	—	—	—	—
リテールその他ードイツ	—	—	—	—	—	—
コーポレート・ローンー米国	4	—	—	—	4	—
合計	239	6	—	6	245	2.4
2024 年 12 月 31 日現在						
リテール・クレジットカードー米国	277	—	—	—	277	—
リテール・クレジットカードードイツ	101	—	16	16	117	13.7
リテールその他ードイツ	80	—	17	17	97	17.5
コーポレート・ローンー米国	5	—	—	—	5	—
合計	463	—	33	33	496	6.7

<sup>1</sup> 経済の不確実性に関する調整 6 百万ポンド(2024 年 12 月:ゼロポンド)は、米国のマクロ経済の不確実性の高まりに備えて当年度に導入された調整を反映しており、ステージ 2 に報告されています。

# 市場リスク

## 管理バリュー・アット・リスク(VaR)の分析

下表は、保有期間 1 日の管理 VaR 合計を示しています。VaR の制限は、管理 VaR 合計および資産種別に適用されます。また、市場リスク管理機能は、重要な業務やトレーディング・デスクに VaR の二次的制限を適用します。

### 資産種別管理 VaR(95%)

	2025 年 6 月 30 日に終了した 半期			2024 年 12 月 31 日に終了した 半期			2024 年 6 月 30 日に終了した 半期		
	平均 (百万ポンド)	最大 (百万ポンド)	最小 (百万ポンド)	平均 (百万ポンド)	最大 (百万ポンド)	最小 (百万ポンド)	平均 (百万ポンド)	最大 (百万ポンド)	最小 (百万ポンド)
信用リスク	16	20	13	20	24	17	22	27	19
金利リスク	15	25	5	14	21	6	16	25	9
株式リスク	8	14	5	5	12	2	6	9	4
ベースス・リスク	5	7	4	5	6	4	6	8	4
スプレッド・リスク	5	7	4	4	7	3	5	7	4
為替リスク	4	7	2	4	7	3	4	9	2
コモディティ・リスク	—	1	—	—	1	—	—	1	—
インフレ・リスク	5	8	3	4	5	2	4	5	2
分散効果 <sup>1</sup>	(39)	n/a	n/a	(32)	n/a	n/a	(34)	n/a	n/a
管理 VaR 合計	19	31	10	24	32	15	29	36	20

1 分散効果は異なる資産または異なる事業から予想される損失が同時に発生する可能性が低いことを認識しています。このため予想損失総額は各エリアにおける予想損失の合計を下回ります。これらの評価においては損失間の過去の相関性が考慮されています。区分ごとに報告されている最大および最小の VaR 値は、最大および最小の管理 VaR 合計と必ずしも同日に発生したものではありません。したがって、最大および最小の VaR 値にかかる分散効果は意味が無く、上表では省略されています。

平均管理 VaR は 21%減少して 19 百万ポンド(2024 年度下半期:24 百万ポンド)となりました。この減少は、2025 年度第 1 四半期における資金調達済みの公正価値レバレッジ・ローンに対するエクスポージャーの縮小と、2025 年度第 2 四半期の市場変動期におけるリスクの全体的に慎重なポジショニングが組み合わさったことによるものです。

# トレジャリー・リスクおよび資本リスク

## 資金調達および流動性

### 概要

流動性プールは、事業全体にわたる預金の増加および期限付きホールセール資金調達の増加により、2,202 億ポンド(2024 年 12 月:1,793 億ポンド)に増加しました。パークレイズ・バンク・ピーエルシーの国内流動性サブグループ(DoL サブグループ)の流動性カバレッジ比率(LCR)は 153.8%(2024 年 12 月:147.9%)で、規制上の要件である 100%を大幅に上回る状態を維持しており、これは年度末時点のポジションと比べて資金流出純額に占める適格流動資産(HQLA)の比率が増加したことを反映しています。

流動性管理の目的上、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびその子会社であり英国のブローカー・ディーラー企業であるパークレイズ・キャピタル・セキュリティーズ・リミテッドは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループの取り決めに基づき、結合ベースにて PRA に監視されています。

### 流動性リスク・ストレステスト

内部流動性ストレステスト(ILST)では、一定の範囲のシナリオにおける潜在的な契約上および偶発的なストレス時の資金流出を測定します。これは次に、ストレスが生じた場合に予想される資金流出に応じるために直ちに利用可能な余剰流動性の規模を決定するのに使用されます。シナリオには、30 日間のパークレイズ特有のストレス事象、90 日間の市場全体のストレス事象、およびパークレイズ特有のストレス事象と市場全体のストレス事象の両方から成る 30 日間の結合シナリオが含まれます。

### 流動性カバレッジ比率

LCR 要件では、様々な資金調達源の相対的な安定性とストレス時の潜在的な追加資金需要を考慮しています。LCR は、30 日間にわたる深刻なストレス・シナリオで生き残るために十分な適格流動資産を保有することで、銀行の流動性リスク・プロファイルの短期的な耐性を向上させることを目的としたものです。

パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、LCR における担保付資金調達取引に関連するストレス時の純流出額を計算する新しい手法を将来に向かって導入しています。この変更は 2025 年 6 月から具体化し、パークレイズ・バンク・ピーエルシーのヘッドライン比率は、最近の高水準から徐々に低下するものの、過去数年間に報告された範囲内に概ねとどまると見込まれています。変更後の手法では、顧客活動のより非対称的な解消をモデル化し、その結果、純流出額の算定値が高くなります。この新しい手法とは別の、2025 年度第 1 四半期から採用された特定の担保付資金調達取引からの流出額の計算方法の変更を反映するために、過年度の比較数値は修正再表示されています。パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、この影響を流動性余剰内で容易に吸収できる十分な流動性バッファーを常に維持しており、今後も維持していく予定です。

2025 年 6 月 30 日現在、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループは、内部および規制上の要件に対して資金流出純額の 100%を大幅に上回る適格流動性資産を保有しています。現金および中央銀行預け金、国債ならびにその他の適格証券の間の余剰流動性比率は、パークレイズ・グループに概ね類似しています。パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループにおける流動性プールはすべてパークレイズ・バンク・ピーエルシー内で保有されています。

	2025 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)
パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループにおける流動性プール	2,202	1,793
	(%)	(%)
パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループにおける流動性カバレッジ比率 <sup>1,2</sup>	153.8	147.9

1 月末のスポット・レシオの直近 12 カ月平均を表します。

2 2025 年度第 1 四半期から採用された、特定の担保付資金調達取引からの流出額の計算の変更を反映するために、過年度の比較数値は修正再表示されています。

## トレジャリー・リスクおよび資本リスク

### 安定調達比率 (NSFR)

外部の NSFR 指標では、銀行は中長期にわたってオンバランスと特定のオフバランスの両方のエクスポージャーを考慮して、安定した資金調達プロファイルを維持することが求められます。この比率は、利用可能な安定調達額 (安定した資金源として定義される資本および特定の負債) と必要安定調達額 (オンバランスの資産および長期の資金調達が必要となる可能性のある特定のオフバランス・エクスポージャーの測定値) との相対的な比率として定義されます。NSFR (直近 4 四半期末の比率の平均) は 2025 年 6 月 30 日現在で 114.2% であり、規制上の要件を上回る超過額 468 億ポンドに相当し、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの安定したバランスシート資金調達プロファイルを示しています。

	2025 年 6 月 30 日現在 (億ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (億ポンド)
<b>安定調達比率<sup>1</sup></b>		
利用可能な安定調達額合計	3,773	3,724
必要安定調達額合計	3,305	3,329
<b>超過額</b>	<b>468</b>	395
<b>安定調達比率</b>	<b>114.2 %</b>	111.9 %

<sup>1</sup> 平均は直近 4 四半期末のスポット・レシオを表します。

流動性リスク選好度の一環として、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループは、最低 LCR、NSFR、および内部流動性ストレステストの制限を設定します。パークレイズ・バンク・ピーエルシーの DoL サブグループは、内部要件および規制要件に対する超過額を効率的な水準で維持する予定です。市場の資金調達状況に対するリスク、パークレイズ・バンク・グループの流動性ポジションおよび資金調達プロファイルは継続的に評価され、流動性プールの規模と資金調達プロファイルを適切に管理するための措置が講じられます。

## トレジャリー・リスクおよび資本リスク

### 資本およびレバレッジ

パークレイズ・バンク・ピーエルシーの自己資本要件は、PRA によりソロ・コンソリデーション・レベルで遵守されなければなりません。ソロ・コンソリデーション・ベースのパークレイズ・バンク・ピーエルシーは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび一部の子会社から構成され、連結する子会社については PRA の承認を条件としています。

詳細については、[home.barclays/investor-relations/reports-and-events](https://home.barclays/investor-relations/reports-and-events) で閲覧可能となる 2025 年 8 月 8 日頃に公表予定のパークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2025 年度中間のピラー3 レポートをご参照下さい。

2025 年 6 月 30 日現在、ソロ・コンソリデーション・ベースのパークレイズ・バンク・ピーエルシーの CET1 資本比率は 12.7%であり、規制上の最低要件の 10.6%を上回っています。

### 資本比率<sup>1,2</sup>

	2025 年 6 月 30 日現在	2024 年 12 月 31 日現在
CET1	12.7%	12.1%
Tier 1 (T1)	16.2%	15.1%
規制上の自己資本合計	18.8%	18.1%

### 資本要素

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
CET1 資本	27,763	26,995
T1 資本	35,493	33,787
規制上の自己資本合計	41,296	40,444
リスク調整後資産 (RWA)	219,137	223,648

パークレイズ・バンク・ピーエルシーのレバレッジの最低要件はサブ連結ベースで設定されています。サブ連結グループは、規制上の連結範囲という意味でのパークレイズ・バンク・グループを表しており、PRA に承認されています。その結果、本報告書に含まれるパークレイズ・バンク・ピーエルシーのレバレッジの開示は、四半期末日基準の自己資本とエクスポージャーに基づいて、パークレイズ・バンク・ピーエルシーのサブ連結レベルで表示されています。

さらに、パークレイズ・バンク・ピーエルシーのサブ連結グループは、四半期各月末ごとの自己資本と四半期の毎日のエクスポージャーの測定値に基づく英国の平均レバレッジ比率の開示を義務付けられています。

### BBPLC のサブ連結のレバレッジ比率<sup>1</sup>

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
英国のレバレッジ比率 <sup>3</sup>	5.6 %	5.8 %
T1 資本	55,600	54,713
英国のレバレッジ・エクスポージャー	991,396	946,809
英国の平均レバレッジ比率	5.2 %	5.2 %
平均 T1 資本	55,127	54,645
英国の平均レバレッジ・エクスポージャー	1,057,533	1,050,090

1 資本、RWA およびレバレッジについての 2024 年度の比較数値は、CRR に基づく経過措置を適用して算出されています。これには、IFRS 第 9 号の経過措置と、特定の資本性商品の適用除外が含まれていました。2025 年 1 月 1 日より、これらの IFRS 第 9 号の経過措置は適用されなくなりました。2025 年 6 月 29 日より、適用除外とされていた商品は Tier 2 資本として認められなくなりました。

2 パークレイズ・バンク・ピーエルシーの AT1 証券（すべてパークレイズ・ピーエルシーが保有）における転換トリガーに対する評価に関連する、パークレイズ・バンク・ピーエルシーのソロ・コンソリデーション・ベースおよびパークレイズ・バンク・ピーエルシーのサブ連結ベースの CET1 比率は、それぞれ 12.7%および 16.9%でした。

3 レバレッジ比率は T1 資本について表されますが、カウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファ（CCLB）と最低要件の 75%は CET1 資本のみでカバーする必要があります。0.2%のカウンターシクリカル・レバレッジ比率バッファに対して保持される CET1 資本は、20 億ポンドでした。

## 取締役の責任に関する声明

取締役(取締役の氏名は以下に記載)は、適切でない場合を除き、継続企業の前提に基づき財務書類を作成することを要求されます。この継続企業の前提の評価を行うにあたり、取締役は現在および将来の状況に関する情報を検討しました。各取締役は、各人が知る限りにおいて、要約連結中間財務書類および注記が、(a) 英国(UK)が採用した国際会計基準第 34 号「期中財務報告」、(b) 国際会計基準審議会(IASB)が発行した国際会計基準第 34 号「期中財務報告」、および(c) 欧州連合で適用される規則(EC)第 1606/2002 号に従って採択した国際会計基準第 34 号「期中財務報告」に準拠して作成されており、また、本書の経営陣の中間報告書には、以下の情報の適正なレビューが含まれていることを認めています。

- 2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間において発生した重要な事象の兆候およびそれらが要約連結中間財務書類に及ぼす影響、ならびに当事業年度の残り 6 カ月間における主要なリスクおよび不確実性の記載。
- 2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間における関連当事者取引のうち、当該期間におけるバークレイズ・バンク・グループの財政状態または業績に重要な影響を及ぼしたすべての取引および直近の年次報告書に記載された関連当事者取引に関する変更のうち、2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間におけるバークレイズ・バンク・グループの財政状態または業績に重要な影響を及ぼす可能性があったすべての変更。

(i) 英国の金融行為規制機構の開示および透明性規則 4.2.7、ならびに(ii) アイルランドの「2007 年透明性(指令 2004/109/EC)規則(改正)」8(2)および(3)に準拠しています。

2025 年 7 月 28 日に以下の者が取締役会を代表して署名を行いました。

C.S. ヴェンカタクリシュナン  
最高責任者

アウノイ・バナジー  
最高財務責任者

バークレイズ・バンク・ピーエルシー取締役会:

会長  
ナイジェル・ヒギンズ

業務執行取締役  
C.S. ヴェンカタクリシュナン  
アンナ・クロス

非業務執行取締役  
ロバート・ベリー  
ドーン・フィッツパトリック  
メアリー・フランシス CBE  
メアリー・マック  
マーク・モーゼス  
ブライアン・シェイ  
ジュリア・ウィルソン



# パークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する独立監査人のレビュー報告書

## 結論

私どもは、パークレイズ・バンク・ピーエルシー（「貴社」または「貴グループ」）の委嘱により、2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間の中間決算報告書に含まれている、以下からなる一連の要約財務書類のレビューを行いました。

- 2025 年 6 月 30 日に終了した期間における要約連結損益計算書および要約連結包括利益計算書
- 2025 年 6 月 30 日現在の要約連結貸借対照表
- 同日に終了した期間における要約連結株主資本変動表
- 同日に終了した期間における要約連結キャッシュフロー計算書
- 関連する注記

私どものレビューに基づき 2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間の中間決算報告書に含まれている一連の要約財務書類が、英国における使用のために採用された IAS 第 34 号「期中財務報告」および英国の金融行為規制機構（英国 FCA）の「開示および透明性規則」（DTR）およびアイルランドの「2007 年透明性（指令 2004/109/EC）規則（改正）」に準拠して作成されていないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められませんでした。

## 結論の根拠

私どもは、英国での使用のために公表された、国際レビュー業務基準（英国）第 2410 号「事業体の独立監査人が実施する中間財務情報のレビュー（ISRE（UK）2410）」に準拠してレビューを実施しました。中間財務情報のレビューには、主として財務および会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続およびその他のレビュー手続が適用されます。私どもは、中間決算報告書に含まれるその他の情報を通読し、当該情報に明白な虚偽表示または一連の要約財務書類中の情報との重要な不整合が含まれているかどうかを検討しました。

レビューは国際監査基準（英国）に準拠して実施される監査に比べて相当程度限定された手続であるため、私どもは、監査において識別されると考えられる重要な事項のすべてを認識しているという保証を得ることができません。したがって、私どもは監査意見を表明いたしません。

## 継続企業の前提に関する結論

本報告書の「結論の根拠」に記載されている通り、監査において実施する手続と比べて限定的なレビュー手続に基づき、取締役が継続企業の前提を不適切に適用した、または取締役が継続企業の前提に関する重要な不確実性を識別したという事実が適切に開示されていないと信じさせる事項は認められませんでした。

この結論は、ISRE（UK）2410 に準拠して実施されたレビュー手続に基づくものです。しかしながら、将来の事象または状況によっては、貴グループが継続企業として事業を継続できなくなる可能性があり、上記の結論は貴グループの事業の継続を保証するものではありません。

## 取締役の責任

中間決算報告書の作成責任は取締役にあり、また、取締役により承認されています。取締役は、英国 FCA の DTR およびアイルランドの「2007 年透明性（指令 2004/109/EC）規則（改正）」に準拠して中間決算報告書を作成する責任を有しています。

注記 1 で開示されている通り、パークレイズ・バンク・ピーエルシー・グループの年次財務書類は、英国で採用された国際会計基準に準拠して作成されています。

取締役は、英国における使用のために採用された IAS 第 34 号に準拠して中間決算報告書に含まれる一連の要約財務書類の作成責任を負っています。

取締役は、要約財務書類の作成に際し、貴グループが継続企業として存続する能力を評価し、継続企業に関する事項を適宜開示し、取締役が貴グループの清算もしくは事業停止を意図するか、またはそれ以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づき要約財務書類を作成する責任を負います。

## 私どもの責任

## パークレイズ・バンク・ピーエルシーに対する独立監査人のレビュー報告書

---

私どもの責任は、私どものレビューに基づき、貴社に対して中間決算報告書に含まれている一連の要約財務書類に対する結論を表明することです。継続企業の前提に関する結論も含め、私どもの結論は本報告書の「結論の根拠」に記載されている通り、監査手続に比べて限定的な手続に基づいています。

### 私どものレビュー手続の目的および私どもが責任を負うもの

本報告書は、貴社が英国 FCA の DTR およびアイルランドの「2007 年透明性(指令 2004/109/EC)規則(改正)」の要件を満たすに当たり貴社を支援する私どもの契約条項に従い、貴社のためにのみ作成されています。私どものレビューは、私どもが本報告書に記載する必要があるこれらの事項を貴社に対して表明するために実施されたものであり、他の目的はありません。法律で認められる限りにおいて、私どもは、私どものレビュー手続、本報告書、または私どもが達した結論について、貴社以外のいかなる者に対しても責任を負うまたは引き受けるものではありません。

スチュアート・クリスプ

ケーピーエムジー エルエルピー(ユーケイ)を代表して

勅許会計士

15 カナダスクエア

ロンドン、E14 5GL

2025 年 7 月 28 日

## 要約連結財務書類

### 要約連結損益計算書(未監査)

		2025 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)	2024 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)
	注記 <sup>1</sup>		
受取利息等		11,915	12,772
支払利息等		(8,420)	(9,657)
<b>利息収入純額</b>		<b>3,495</b>	<b>3,115</b>
受取手数料	3	4,962	4,775
支払手数料	3	(1,742)	(1,527)
<b>手数料収入純額</b>	<b>3</b>	<b>3,220</b>	<b>3,248</b>
トレーディング収益純額		4,358	3,302
投資(費用)/収益純額		(20)	15
その他の収益		29	14
<b>収益合計</b>		<b>11,082</b>	<b>9,694</b>
人件費		(2,831)	(2,866)
インフラおよび一般管理費		(3,424)	(3,199)
英国の規制上の賦課金		(53)	(66)
訴訟および特定行為		(59)	(56)
<b>営業費用</b>		<b>(6,367)</b>	<b>(6,187)</b>
関連会社および共同支配企業の税引後損益に対する持分		—	1
<b>減損前利益</b>		<b>4,715</b>	<b>3,508</b>
信用に係る減損費用		(875)	(831)
<b>税引前利益</b>		<b>3,840</b>	<b>2,677</b>
税金費用		(778)	(520)
<b>税引後利益</b>		<b>3,062</b>	<b>2,157</b>
<b>以下に帰属するもの:</b>			
親会社の株主		2,675	1,735
その他の持分商品保有者		387	422
<b>税引後利益</b>		<b>3,062</b>	<b>2,157</b>

1 財務書類に対する注記は英語原文の 33 ページから 49 ページをご参照ください。

## 要約連結財務書類

### 要約連結包括利益計算書(未監査)

		2025 年 6 月 30 日に終了し た半期	2024 年 6 月 30 日に終了し た半期
	注記 <sup>1</sup>	(百万ポンド)	(百万ポンド)
税引後利益		3,062	2,157
損益に振替えられる可能性のあるその他の包括(損失)/利益 <sup>2</sup>			
為替換算再評価差額	9	(1,652)	(107)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額	9	365	(286)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	9	1,115	(169)
損益に振替えられる可能性のあるその他の包括損失		(172)	(562)
損益に振替えられないその他の包括利益/(損失) <sup>2</sup>			
退職給付の再測定	8	(194)	(97)
当グループ自身の信用度に関連する損益	9	517	(462)
損益に振替えられないその他の包括利益/(損失)		323	(559)
当期その他の包括利益/(損失)		151	(1,121)
当期包括利益合計		3,213	1,036

<sup>1</sup> 財務書類に対する注記は英語原文の 33 ページから 49 ページをご参照ください。

<sup>2</sup> 税引後の金額で報告されています。

## 要約連結財務書類

### 要約連結貸借対照表(未監査)

		2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
<b>資産</b>	注記 <sup>1</sup>		
現金および中央銀行預け金		200,071	180,365
現金担保および決済残高		146,848	113,987
債券(償却原価ベース)		54,605	50,227
銀行に対する貸付金(償却原価ベース)		8,819	8,780
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)		133,284	136,047
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		7,007	3,393
トレーディング・ポートフォリオ資産		186,243	166,244
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産		216,633	191,845
デリバティブ		279,671	292,356
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産		46,136	51,010
関連会社および共同支配企業に対する投資		15	14
のれんおよび無形資産		1,212	1,425
有形固定資産		1,462	1,546
未収還付税		221	785
繰延税金資産		3,211	4,133
退職給付資産	8	2,997	3,263
売却目的保有に分類された処分グループに含まれる資産	13	5,585	9,854
その他の資産		3,290	3,250
<b>資産合計</b>		<b>1,297,310</b>	<b>1,218,524</b>
<b>負債</b>			
銀行預り金(償却原価ベース)		19,347	13,252
顧客預り金(償却原価ベース)		306,718	306,124
現金担保および決済残高		138,788	104,627
レポ取引およびその他類似の担保付借入		23,974	29,397
発行債券		45,925	35,803
劣後負債	6	43,221	41,875
トレーディング・ポートフォリオ負債		67,802	56,182
公正価値で測定すると指定された金融負債		315,762	279,777
デリバティブ		265,289	279,331
未払税金		593	404
繰延税金負債		2	2
退職給付債務	8	160	164
引当金	7	793	736
売却目的保有に分類された処分グループに含まれる負債	13	—	3,726
その他の負債		7,688	7,904
<b>負債合計</b>		<b>1,236,062</b>	<b>1,159,304</b>
<b>株主資本</b>			
払込済株式資本および株式払込剰余金		2,346	2,348
その他の持分商品		10,479	9,604
その他の剰余金	9	(953)	(1,302)
利益剰余金		49,376	48,570
<b>株主資本合計</b>		<b>61,248</b>	<b>59,220</b>
<b>負債および株主資本合計</b>		<b>1,297,310</b>	<b>1,218,524</b>

<sup>1</sup> 財務書類に対する注記は英語原文の 33 ページから 49 ページをご参照ください。

## 要約連結財務書類

### 要約連結株主資本変動表(未監査)

	払込済株式資本および株式払込剰余金	その他の持分商品 <sup>1</sup>	その他の剰余金 <sup>2</sup>	利益剰余金	株主資本合計
2025年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2025年1月1日現在残高	2,348	9,604	(1,302)	48,570	59,220
税引後利益	—	387	—	2,675	3,062
為替換算の変動	—	—	(1,652)	—	(1,652)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額	—	—	365	—	365
キャッシュフロー・ヘッジ	—	—	1,115	—	1,115
退職給付の再測定	—	—	—	(194)	(194)
当グループ自身の信用度に関連する損益	—	—	517	—	517
当期包括利益合計	—	387	345	2,481	3,213
持分商品の発行および交換	—	875	—	(1)	874
その他の持分商品に係るクーポン支払額	—	(387)	—	—	(387)
優先株式の償還 <sup>3</sup>	(2)	—	2	(270)	(270)
従業員株式制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の決済	—	—	—	320	320
株式報酬制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の権利確定	—	—	—	(508)	(508)
普通株式配当金	—	—	—	(1,195)	(1,195)
優先株式およびその他の株主資本に係る配当金	—	—	—	(18)	(18)
その他の剰余金の変動	—	—	2	(3)	(1)
2025年6月30日現在残高	2,346	10,479	(953)	49,376	61,248

	払込済株式資本および株式払込剰余金	その他の持分商品 <sup>1</sup>	その他の剰余金 <sup>2</sup>	利益剰余金	株主資本合計
2024年12月31日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2024年7月1日現在残高	2,348	9,875	(1,387)	48,274	59,110
税引後利益	—	370	—	1,221	1,591
為替換算の変動	—	—	14	—	14
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額	—	—	(188)	—	(188)
キャッシュフロー・ヘッジ	—	—	616	—	616
退職給付の再測定	—	—	—	(201)	(201)
当グループ自身の信用度に関連する損益	—	—	(360)	—	(360)
当期包括利益合計	—	370	82	1,020	1,472
その他の持分商品の発行および交換	—	(271)	—	—	(271)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	—	(370)	—	—	(370)
優先株式の償還	—	—	—	—	—
従業員株式制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の決済	—	—	—	242	242
株式報酬制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の権利確定	—	—	—	(16)	(16)
普通株式配当金	—	—	—	(930)	(930)
優先株式およびその他の株主資本に係る配当金	—	—	—	(20)	(20)
その他の剰余金の変動	—	—	3	—	3
2024年12月31日現在残高	2,348	9,604	(1,302)	48,570	59,220

要約連結株主資本変動表(未監査)

	払込済株式資本および株式 払込剰余金	その他の持分 商品 <sup>1</sup>	その他の剰余 金 <sup>2</sup>	利益剰余金	株主資本合計
2024 年 6 月 30 日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2024 年 1 月 1 日現在残高	2,348	10,765	(363)	47,754	60,504
税引後利益	—	422	—	1,735	2,157
為替換算の変動	—	—	(107)	—	(107)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額	—	—	(286)	—	(286)
キャッシュフロー・ヘッジ	—	—	(169)	—	(169)
退職給付の再測定	—	—	—	(97)	(97)
当グループ自身の信用度に関連する損益	—	—	(462)	—	(462)
当期包括利益合計	—	422	(1,024)	1,638	1,036
その他の持分商品の発行および交換	—	(890)	—	(92)	(982)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	—	(422)	—	—	(422)
優先株式の償還	—	—	—	—	—
従業員株式制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の決済	—	—	—	289	289
株式報酬制度に基づくパークレイズ・ピーエルシー株式の権利確定	—	—	—	(432)	(432)
普通株式配当金	—	—	—	(852)	(852)
優先株式およびその他の株主資本に係る配当金	—	—	—	(21)	(21)
その他の剰余金の変動	—	—	—	(10)	(10)
2024 年 6 月 30 日現在残高	2,348	9,875	(1,387)	48,274	59,110

1 その他の持分商品 10,479 百万ポンド(2024 年 12 月:9,604 百万ポンド)は、パークレイズ・ピーエルシーに発行した AT1 証券で構成されています。パークレイズ・ピーエルシーは市場発行により得た資金を、パークレイズ・バンク・ピーエルシーから AT1 証券を購入するために利用しています。2025 年 6 月 30 日に終了した期間において、発行 1 件(発行費用 12 百万ポンド控除後、合計 1,174 百万ポンドの固定利付金利再設定永久劣後コンティンジェント・コンバーチブル証券の発行)と、償還 1 件(発行費用 1 百万ポンド控除後、299 百万ポンド、償還時に利益剰余金に振替え)が行われました。2024 年 12 月 31 日に終了した期間において、発行 2 件(発行費用 10 百万ポンドを含む、合計 970 百万ポンドの固定利付金利再設定永久劣後コンティンジェント・コンバーチブル証券の発行)と、償還 2 件(合計 2,131 百万ポンド)が行われました。

2 詳細は、英語原文の 43 ページの注記 9 に記載されています。

3 2025 年 6 月 16 日、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、発行済みの 4.75%非累積型繰上償還可能ユーロ建優先株式シリーズ 2 を償還し、消却しました。発行済残高は 319 百万ユーロでした。



要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

	2025 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)	2024 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)
税引前利益	3,840	2,677
非現金項目およびその他の項目の調整	5,250	2,586
貸付金(償却原価ベース)の純減少/(増加)	1,488	(2,723)
預り金(償却原価ベース)の純増加	6,689	22,214
発行債券の純増加/(減少)	10,122	(2,575)
その他の営業資産および負債の変動	(4,572)	10,137
法人税等還付/(支払)額	152	(66)
<b>営業活動からのキャッシュ純額</b>	<b>22,969</b>	<b>32,250</b>
投資活動からのキャッシュ純額	(1,241)	(7,383)
財務活動からのキャッシュ純額	1,575	(67)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	(2,633)	(1,622)
<b>現金および現金同等物の純増加</b>	<b>20,670</b>	<b>23,178</b>
現金および現金同等物 期首残高	200,695	208,412
<b>現金および現金同等物 期末残高</b>	<b>221,365</b>	<b>231,590</b>

# 財務書類に対する注記

## 1 作成の基礎

2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間のこれらの要約連結中間財務書類(本財務書類)は、(a)英国の金融行為規制機構(FCA)の「開示ガイダンスおよび透明性規則」(DTR)、(b)アイルランドの「2007 年透明性(指令 2004/109/EC)規則(改正)」ならびに(c) (i)英国が採用した IAS 第 34 号「期中財務報告」、(ii)国際会計基準審議会(以下「IASB」という。)が公表した IAS 第 34 号「期中財務報告」、および(iii)欧州連合(以下「EU」という。)で適用される規則(EC)第 1606/2002 号に従って採択した IAS 第 34 号「期中財務報告」に準拠して作成されています。英国が適用した IAS 第 34 号と EU が適用した IAS 第 34 号は、現時点で同じものであり、また 2024 年 12 月 31 日現在でも同じでした。

要約連結中間財務書類は、2024 年 12 月 31 日終了事業年度の年次財務書類と併せて読むべきです。2024 年 12 月 31 日終了事業年度の年次財務書類は、2006 年会社法の要求事項に準拠し、また、(i)英国が採用した国際会計基準、(ii)IASB が発行した国際財務報告基準(以下、「IFRS」という。)および解釈(IFRIC)および(iii)EU で適用される規則(EC)第 1606/2002 号に従って採択した IFRS に準拠して作成されています。英国が適用した IFRS と EU が適用した IFRS は、現時点で同じものであり、また 2024 年 12 月 31 日現在でも同じでした。

これらの要約連結中間財務書類で使用した会計方針および会計処理方法は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書で使用了なものと同じです。

### i. 継続事業の前提

取締役は、パークレイズ・バンク・グループおよび親会社が財務書類の承認日から少なくとも 12 カ月間において事業を継続するための資源を有していると確信しているため、本財務書類は継続企業の前提に基づいて作成されています。この評価を行うにあたり、取締役は、運転資本報告書(WCR)のレビューを含む、現在および将来の状況に関する幅広い情報を検討しました。WCR は、取締役が、パークレイズ・バンク・グループの将来の業績を評価し、継続的な規制上の要求事項を満たすために必要な資源を保有しているかどうかを評価するために使用します。WCR には、内部で作成されたストレステストのシナリオが流動性や所要自己資本の予測に与える影響の評価が含まれています。使用したストレステストは、パークレイズ・バンク・グループが経験し得ると合理的に考えられる下方経済シナリオの評価に基づいています。

WCR は、パークレイズ・バンク・グループが将来のビジネス要件の下支えに十分な資本を保有しており、内部のストレス・シナリオにおける規制上の最低限の要求事項を引き続き上回っていることを示しました。

### ii. その他の開示

英語原文 6 ページから 19 ページの「信用リスク」の開示は、中間財務書類の一部を構成しています。

## 財務書類に対する注記

### 2.セグメント別報告

パークレイズ・バンク・グループのセグメントは、本社に加えて、以下の通りです。

- **UKCB** UK コーポレート・バンクは、決済取引高 6.5 百万ポンドを超える法人顧客向けに、貸付、売買および運転資本、流動性、決済、ならびに為替ソリューションを総合的に行っています。
- **PBWM** パークレイズ・プライベート・バンク・アンド・ウェルス・マネジメントは、総合的なウェルス・バンキングおよびプライベート・バンキング・ソリューションを提供しており、英国のあらゆる富裕層の顧客へのサービスの提供と、厳選された国際市場におけるプライベート・バンクのフランチャイズの拡充を目指して構成されています。
- **IB** インベストメント・バンクには、グローバル・マーケット、インベストメント・バンキング、インターナショナル・コーポレート・バンキングの各事業が組み込まれ、FTSE350、多国籍企業、金融機関の各顧客にサービスを提供します。
- **USCB** US コンシューマー・バンクは、特にパートナーシップ市場に重点を置いた米国のクレジットカード事業とオンライン預金のフランチャイズで構成されます。

### 事業部門別業績の内訳

	パークレイズ・ UK コーポレ ート・バンク	パークレイズ・ プライベート・ バンク・アンド・ ウェルス・マネ ジメント	パークレイズ・ インベストメン ト・バンク	パークレイズ US コンシュー マー・バンク	パークレイズ・ バンク・グル ープ 本社	パークレイズ・ バンク・グル ープ
2025 年 6 月 30 日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	729	425	786	1,332	223	3,495
非金利収入	306	292	6,567	369	53	7,587
<b>収益合計</b>	<b>1,035</b>	<b>717</b>	<b>7,353</b>	<b>1,701</b>	<b>276</b>	<b>11,082</b>
うち、セグメント間の収益／(費用)	992	921	(1,761)	(3)	(149)	—
営業費用	(513)	(494)	(4,118)	(817)	(313)	(6,255)
英国の規制上の賦課金	(24)	(2)	(27)	—	—	(53)
訴訟および特定行為	(39)	—	(11)	(3)	(6)	(59)
<b>営業費用合計</b>	<b>(576)</b>	<b>(496)</b>	<b>(4,156)</b>	<b>(820)</b>	<b>(319)</b>	<b>(6,367)</b>
その他の収益純額 <sup>1</sup>	—	—	—	—	—	—
<b>減損前利益／(損失)</b>	<b>459</b>	<b>221</b>	<b>3,197</b>	<b>881</b>	<b>(43)</b>	<b>4,715</b>
信用に係る減損(費用)／戻入	(31)	11	(139)	(711)	(5)	(875)
<b>税引前利益／(損失)</b>	<b>428</b>	<b>232</b>	<b>3,058</b>	<b>170</b>	<b>(48)</b>	<b>3,840</b>
2025 年 6 月 30 日現在	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>682</b>	<b>417</b>	<b>11,405</b>	<b>311</b>	<b>158</b>	<b>12,973</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,022</b>	<b>763</b>	<b>10,288</b>	<b>236</b>	<b>52</b>	<b>12,361</b>

## 財務書類に対する注記

	パークレイズ・ UK コーポレ ート・バンク	パークレイズ・ プライベート・ バンク・アンド・ ウェルズ・マネ ジメント	パークレイズ・ インベストメン ト・バンク	パークレイズ US コンシュー マー・バンク	本社	パークレイズ・ バンク・グル ープ
2024 年 6 月 30 日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
利息収入純額	604	376	654	1,347	134	3,115
非金利収入	308	272	5,905	344	(250)	6,579
<b>収益合計</b>	<b>912</b>	<b>648</b>	<b>6,559</b>	<b>1,691</b>	<b>(116)</b>	<b>9,694</b>
うち、セグメント間の収益／(費用)	1,217	1,045	(1,809)	(3)	(450)	—
営業費用	(492)	(454)	(3,963)	(807)	(349)	(6,065)
英国の規制上の賦課金	(30)	(3)	(33)	—	—	(66)
訴訟および特定行為	—	1	(11)	(4)	(42)	(56)
<b>営業費用合計</b>	<b>(522)</b>	<b>(456)</b>	<b>(4,007)</b>	<b>(811)</b>	<b>(391)</b>	<b>(6,187)</b>
その他の収益純額 <sup>1</sup>	—	—	—	—	1	1
<b>減損前利益／(損失)</b>	<b>390</b>	<b>192</b>	<b>2,552</b>	<b>880</b>	<b>(506)</b>	<b>3,508</b>
信用に係る減損(費用)／戻入	(23)	3	(34)	(719)	(58)	(831)
<b>税引前利益／(損失)</b>	<b>367</b>	<b>195</b>	<b>2,518</b>	<b>161</b>	<b>(564)</b>	<b>2,677</b>
2024 年 12 月 31 日現在	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
<b>資産合計</b>	<b>613</b>	<b>341</b>	<b>10,618</b>	<b>349</b>	<b>264</b>	<b>12,185</b>
<b>負債合計</b>	<b>947</b>	<b>750</b>	<b>9,556</b>	<b>245</b>	<b>95</b>	<b>11,593</b>

セグメント間の収益／(費用)とは、異なる事業セグメント間の収益の内部請求額を指し、資金、資本、サービス等の資源がパークレイズ・バンク・グループ全体でどのように活用されているかを反映しています。顧客預金の正味ポジションで営業活動を行うセグメントは、余剰資金をパークレイズ・バンク・グループの他のセグメント活動への資金源として提供します。

<sup>1</sup> その他の収益純額は関連会社および共同支配企業の税引後損益に対する持分を表します。

### 3.手数料収入純額

手数料収入の内訳は以下の通りであり、IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」の適用範囲に含まれる手数料の合計を含んでいます。事業セグメントに関する詳細については、注記 2「セグメント別報告」をご参照ください。

	パークレイズ・ UK コーポレ ート・バンク	パークレイズ・ プライベート・ バンク・アンド・ウ ェルズ・マネジ メント	パークレイズ・ インベストメン ト・バンク	パークレイズ US コンシュー マー・バンク	本社	パークレイズ・ バンク・グル ープ
2025 年 6 月 30 日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>手数料の種類</b>						
トランザクション	229	15	171	1,333	130	1,878
アドバイザー	—	166	282	—	—	448
仲介および実行	—	79	979	—	—	1,058
株式引受および組成	51	—	1,391	—	—	1,442
その他	6	2	34	—	15	57
<b>顧客との契約から生じる収益合計</b>	<b>286</b>	<b>262</b>	<b>2,857</b>	<b>1,333</b>	<b>145</b>	<b>4,883</b>
契約以外の手数料から生じるその他の収益	14	—	65	—	—	79
<b>受取手数料</b>	<b>300</b>	<b>262</b>	<b>2,922</b>	<b>1,333</b>	<b>145</b>	<b>4,962</b>
支払手数料	(49)	(19)	(677)	(959)	(38)	(1,742)
<b>手数料収入純額</b>	<b>251</b>	<b>243</b>	<b>2,245</b>	<b>374</b>	<b>107</b>	<b>3,220</b>

## 財務書類に対する注記

	パークレイズ・ UK コーポレー ト・バンク	パークレイズ・ プライベート・バ ンク・アンド・ウ ェルス・マネジメ ント	パークレイズ・ インベストメン ト・バンク	パークレイズ US コンシュー マー・バンク	本社	パークレイズ・ バンク・グルー プ
2024 年 6 月 30 日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>手数料の種類</b>						
トランザクション	228	16	171	1,320	160	1,895
アドバイザリー	—	156	325	—	—	481
仲介および実行	—	62	777	—	—	839
株式引受および組成	46	—	1,391	—	—	1,437
その他	6	2	35	—	11	54
<b>顧客との契約から生じる収益合計</b>	<b>280</b>	<b>236</b>	<b>2,699</b>	<b>1,320</b>	<b>171</b>	<b>4,706</b>
契約以外の手数料から生じるその他の 収益	11	—	58	—	—	69
<b>受取手数料</b>	<b>291</b>	<b>236</b>	<b>2,757</b>	<b>1,320</b>	<b>171</b>	<b>4,775</b>
支払手数料	(46)	(19)	(520)	(893)	(49)	(1,527)
<b>手数料収入純額</b>	<b>245</b>	<b>217</b>	<b>2,237</b>	<b>427</b>	<b>122</b>	<b>3,248</b>

### 手数料の種類

トランザクションに係る手数料は、預金口座のサービス料、現金管理サービスおよびトランザクション処理に係る手数料です。これには、クレジットカードおよび銀行カードの使用により発生するインターチェンジ・フィーおよび加盟店手数料の受取が含まれます。

アドバイザリーに係る手数料は、ウェルス・マネジメント・サービスおよび合併、買収および財務再編に関連するインベストメント・バンキング・アドバイザリー・サービスにより発生します。

仲介および実行に係る手数料は、様々な取引所や店頭市場における顧客取引の実行、取引決済時における顧客支援、スポット／フォワード契約の外国為替取引により稼得されます。

株式引受および組成に係る手数料は、顧客の持分証券や債券の販売、ならびにローン・シンジケーションのアレンジメントおよび管理により稼得されます。これには、ローンによる資金調達の提供に係るコミットメント・フィーが含まれます。

# 財務書類に対する注記

## 4. 普通株式および優先株式に係る配当金

	2025 年 6 月 30 日に終了し た半期	2024 年 6 月 30 日に終了し た半期
当期の配当金支払額	(百万ポンド)	(百万ポンド)
普通株式	1,195	852
優先株式	18	21
合計	1,213	873

2025 年 7 月 28 日付で、2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間に関する期中配当金 1,375 百万ポンドが宣言されました。

## 5. 金融商品の公正価値

このセクションは、適用された会計方針、公正価値の算定に用いられた評価方法、評価の監視を管理する評価統制の枠組みに関する詳細が記載されている、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書の注記 16「金融商品の公正価値」と併せて読むことを推奨します。当期中に適用された会計方針または用いられた評価方法に変更はありませんでした。

### 評価

以下の表は、パークレイズ・バンク・グループの公正価値で保有する資産および負債を評価技法（公正価値ヒエラルキー）および貸借対照表上の分類別に表示したものです。

	評価技法に使用			
	取引相場価格	観察可能イン プット	重要な観察不 能インプット	合計
	(レベル 1) (百万ポンド)	(レベル 2) (百万ポンド)	(レベル 3) (百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>2025 年 6 月 30 日現在</b>				
トレーディング・ポートフォリオ資産	86,649	89,715	9,879	186,243
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産	7,634	202,612	6,387	216,633
デリバティブ	108	277,580	1,983	279,671
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	16,589	26,403	3,144	46,136
投資不動産	—	—	42	42
<b>資産合計</b>	<b>110,980</b>	<b>596,310</b>	<b>21,435</b>	<b>728,725</b>
トレーディング・ポートフォリオ負債	(38,150)	(29,228)	(424)	(67,802)
公正価値で測定すると指定された金融負債	(1,576)	(311,355)	(2,831)	(315,762)
デリバティブ	(93)	(262,335)	(2,861)	(265,289)
<b>負債合計</b>	<b>(39,819)</b>	<b>(602,918)</b>	<b>(6,116)</b>	<b>(648,853)</b>
<b>2024 年 12 月 31 日現在</b>				
トレーディング・ポートフォリオ資産	77,581	78,548	10,115	166,244
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融資産	3,463	182,391	5,991	191,845
デリバティブ	101	290,182	2,073	292,356
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	19,021	28,315	3,674	51,010
投資不動産	—	—	9	9
<b>資産合計</b>	<b>100,166</b>	<b>579,436</b>	<b>21,862</b>	<b>701,464</b>
トレーディング・ポートフォリオ負債	(27,033)	(28,754)	(395)	(56,182)
公正価値で測定すると指定された金融負債	(181)	(276,355)	(3,241)	(279,777)
デリバティブ	(86)	(276,064)	(3,181)	(279,331)
<b>負債合計</b>	<b>(27,300)</b>	<b>(581,173)</b>	<b>(6,817)</b>	<b>(615,290)</b>

## 財務書類に対する注記

以下の表は、バークレイズ・バンク・グループの公正価値で保有するレベル 3 の資産および負債を商品タイプ別に表示したものです。

2025 年 6 月 30 日現在	借入金 (百万 ポンド)	社債 (百万ポ ンド)	アセット・バ ック証券 (百万ポ ンド)	公債 (百万ポ ンド)	プライベート・ エクイティ投 資 (百万ポ ンド)	発行債 券 (百万 ポンド)	リバース・レ ポ取引および レポ取引 (百万ポ ンド)	金利デリバ ティブ (百万ポ ンド)	エクイティ・ デリバティブ (百万ポ ンド)	その他の 商品 <sup>1</sup> (百万ポ ンド)	合計 (百万 ポンド)
トレーディング・ポートフォリオ資 産	5,468	1,843	883	1,199	—	—	—	—	—	486	9,879
損益計算書を通じて公正価値で 測定する金融資産	4,661	835	178	32	206	—	402	—	—	73	6,387
デリバティブ	—	—	—	—	—	—	—	915	611	457	1,983
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融資産	2,350	37	757	—	—	—	—	—	—	—	3,144
投資不動産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	42
<b>資産合計</b>	<b>12,479</b>	<b>2,715</b>	<b>1,818</b>	<b>1,231</b>	<b>206</b>	<b>—</b>	<b>402</b>	<b>915</b>	<b>611</b>	<b>1,058</b>	<b>21,435</b>
トレーディング・ポートフォリオ負 債	—	(36)	—	(325)	—	—	—	—	—	(63)	(424)
公正価値で測定すると指定され た金融負債	—	—	—	—	—	(1,575)	(1,240)	—	—	(16)	(2,831)
デリバティブ	—	—	—	—	—	—	—	(774)	(1,349)	(738)	(2,861)
<b>負債合計</b>	<b>—</b>	<b>(36)</b>	<b>—</b>	<b>(325)</b>	<b>—</b>	<b>(1,575)</b>	<b>(1,240)</b>	<b>(774)</b>	<b>(1,349)</b>	<b>(817)</b>	<b>(6,116)</b>

  

2024 年 12 月 31 日現在	借入金 (百万 ポンド)	社債 (百万ポ ンド)	アセット・バ ック証券 (百万ポ ンド)	公債 (百万ポ ンド)	プライベート・ エクイティ投 資 (百万ポ ンド)	発行債 券 (百万ポ ンド)	リバース・レ ポ取引および レポ取引 (百万ポ ンド)	金利デリバ ティブ (百万ポ ンド)	エクイティ・ デリバティブ (百万ポ ンド)	その他の 商品 <sup>1</sup> (百万ポ ンド)	合計 (百万ポ ンド)
トレーディング・ポートフォリオ資 産	6,146	1,590	991	1,018	—	—	—	—	—	370	10,115
損益計算書を通じて公正価値で 測定する金融資産	3,991	913	139	35	219	—	539	—	—	155	5,991
デリバティブ	—	—	—	—	—	—	—	1,193	477	403	2,073
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融資産	2,858	47	757	12	—	—	—	—	—	—	3,674
投資不動産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	9
<b>資産合計</b>	<b>12,995</b>	<b>2,550</b>	<b>1,887</b>	<b>1,065</b>	<b>219</b>	<b>—</b>	<b>539</b>	<b>1,193</b>	<b>477</b>	<b>937</b>	<b>21,862</b>
トレーディング・ポートフォリオ負 債	—	(374)	(6)	—	—	—	—	—	—	(15)	(395)
公正価値で測定すると指定され た金融負債	—	—	—	—	—	(1,842)	(1,379)	—	—	(20)	(3,241)
デリバティブ	—	—	—	—	—	—	—	(1,013)	(1,219)	(949)	(3,181)
<b>負債合計</b>	<b>—</b>	<b>(374)</b>	<b>(6)</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>(1,842)</b>	<b>(1,379)</b>	<b>(1,013)</b>	<b>(1,219)</b>	<b>(984)</b>	<b>(6,817)</b>

1 その他の商品には、ファンドおよびファンドリンク型商品、エクイティ現物商品、投資不動産、クレジット・デリバティブ、為替デリバティブが含まれます。

### レベル 1 とレベル 2 の間での資産および負債の振替

2025 年 6 月 30 日に終了した 6 カ月間において、レベル 1 とレベル 2 の間での重要な振替はありません(2024 年 12 月 31 日終了事業年度:レベル 1 とレベル 2 の間での重要な振替はありません)。



## 財務書類に対する注記

### レベル 3 の変動分析

以下の表は、当 6 カ月間におけるレベル 3 の資産および負債の残高の変動を要約したものです。振替は、振替は当期首に実施したものとして反映しています。

レベル 2 とレベル 3 の間の資産および負債の振替は、主に i) インプットに関連する観察可能な市場取引の増加もしくは減少、または ii) 観察不能なインプットの重要性の変化に起因しており、観察不能なインプットが重要とみなされる場合、当該資産および負債はレベル 3 に分類されます。

### レベル 3 の資産および負債の変動分析

	2025 年 1 月 1 日現在 (百万ポンド)	購入 (百万ポンド)	売却 (百万ポンド)	発行 (百万ポンド)	決済 (百万ポンド)	期間中に損益計算書に 認識された利益および (損失)合計		期間中にそ の他の包括 利益に認識さ れた利益およ び(損失)合計 (百万ポンド)	振替		2025 年 6 月 30 日 現在 (百万ポンド)
						トレーディ ング収益 <sup>2</sup> (百万ポンド)	その他の収 益 (百万ポンド)		レベル 3 へ	レベル 3 から	
トレーディング・ポートフォリオ資産	10,115	4,125	(3,524)	—	(1,147)	136	—	—	439	(265)	9,879
損益計算書を通じて公正 価値で測定する金融資産	5,991	2,388	(1,170)	—	(469)	(117)	(19)	—	63	(280)	6,387
その他の包括利益を通じ て公正価値で測定する金 融資産	3,674	566	(1,399)	—	(6)	3	29	—	277	—	3,144
投資不動産	9	33	—	—	—	—	—	—	—	—	42
トレーディング・ポートフォリオ負債	(395)	(46)	28	—	—	37	—	—	(57)	9	(424)
公正価値で測定すると指 定された金融負債	(3,241)	—	91	(617)	31	88	—	—	(179)	996	(2,831)
デリバティブ純額 <sup>1</sup>	(1,108)	(19)	249	—	2	166	1	—	(34)	(135)	(878)
合計	15,045	7,047	(5,725)	(617)	(1,589)	313	11	—	509	325	15,319

## 財務書類に対する注記

### レベル 3 の資産および負債の変動分析

						期間中に損益計算書に 認識された利益および (損失)合計		期間中にそ の他の包括 利益に認識さ れた利益およ び(損失)合 計	振替		2024 年 6 月 30 日現 在 (百万ポ ンド)
	2024 年 1 月 1 日現 在 (百万ポ ンド)	購入 (百万ポ ンド)	売却 (百万ポ ンド)	発行 (百万ポ ンド)	決済 (百万ポ ンド)	トレーディ ング収益 <sup>2</sup> (百万ポ ンド)	その他の収 益 (百万ポ ンド)		レベル 3 へ	レベル 3 から	
	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)		(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	
トレーディング・ポートフ オリオ資産	6,509	3,113	(1,007)	—	(714)	(7)	—	—	1,046	(214)	8,726
損益計算書を通じて公 正価値で測定する金融 資産	5,368	2,732	(1,006)	—	(282)	(6)	34	—	290	(106)	7,024
その他の包括利益を通 じて公正価値で測定す る金融資産	776	1,854	(42)	—	—	1	11	—	—	(200)	2,400
投資不動産	2	—	(1)	—	—	—	—	—	—	—	1
トレーディング・ポートフ オリオ負債	(368)	(28)	17	—	—	18	—	—	(30)	6	(385)
公正価値で測定すると 指定された金融負債	(1,212)	1	9	(628)	16	(27)	—	—	(881)	248	(2,474)
デリバティブ純額 <sup>1</sup>	(1,113)	(181)	33	(19)	(171)	(193)	—	—	21	109	(1,514)
合計	9,962	7,491	(1,997)	(647)	(1,151)	(214)	45	—	446	(157)	13,778

1 デリバティブは純額ベースで表示されています。総額ベースのデリバティブ金融資産は 1,983 百万ポンド(2024 年 6 月:2,821 百万ポンド)であり、同デリバティブ金融負債は(2,861)百万ポンド(2024 年 6 月:(4,335)百万ポンド)でした。

2 トレーディング収益は、レベル 3 の金融商品に係る利益および損失を表し、大部分はレベル 2 で開示される金融商品に係る損失および利益によって相殺されま

### レベル 3 の資産および負債に係る未実現利益および損失

以下の表は、期末現在で保有されるレベル 3 の資産および負債から生じ、当 6 カ月間において認識された未実現利益および損失を開示しています。

	2025 年 6 月 30 日に終了した半期 損益計算書				2024 年 6 月 30 日に終了した半期 損益計算書			
	トレーディ ング収益 <sup>1</sup>	その他の収益	その他の包 括利益	合計	トレーディ ング 収益	その他の収益	その他の包 括利益	合計
	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)	(百万ポ ンド)
トレーディング・ポートフォリオ資産	21	—	—	21	(2)	—	—	(2)
損益計算書を通じて公正価値で測定する金融 資産	(117)	(20)	—	(137)	15	30	—	45
その他の包括利益を通じて公正価値で測定す る金融資産	3	28	—	31	(2)	11	—	9
投資不動産	—	—	—	—	—	—	—	—
トレーディング・ポートフォリオ負債	34	—	—	34	17	—	—	17
公正価値で測定すると指定された金融負債	86	—	—	86	(29)	—	—	(29)
デリバティブ純額	165	1	—	166	(191)	—	—	(191)
合計	192	9	—	201	(192)	41	—	(151)

1 トレーディング収益は、レベル 3 の金融商品に係る利益および損失を表し、大部分はレベル 2 で開示される金融商品に係る損失および利益によって相殺されま

# 財務書類に対する注記

## 評価技法および感応度分析

感応度分析は、合理的に可能な様々な代替評価を行うために、重要な観察不能インプットを有する(レベル 3)商品に対して実施されます。適用される感応度分析の手法では、使用した評価技法の性質、また、観察可能な比較対象および過去のデータの入手可能性および信頼性ならびに代替モデルの使用による影響を考慮しています。

感応度は月次で動的に算出されます。計算は信頼できる参照元の範囲またはスプレッド・データ、あるいは関連する市場分析に基づくシナリオ、ならびに代替モデルの使用による影響に基づいています。感応度はポートフォリオの分散の影響を反映せずに計算されます。

当期間の評価技法および感応度分析の手法は、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書の注記 16「金融商品の公正価値」の記載事項と一致しています。

## 観察不能インプットを用いた評価の感応度分析(レベル 3 ポートフォリオに関するもの)

	2025 年 6 月 30 日現在				2024 年 12 月 31 日現在			
	有利な変動		不利な変動		有利な変動		不利な変動	
	損益計算書 (百万ポンド)	株主資本 (百万ポンド)	損益計算書 (百万ポンド)	株主資本 (百万ポンド)	損益計算書 (百万ポンド)	株主資本 (百万ポンド)	損益計算書 (百万ポンド)	株主資本 (百万ポンド)
貸付金	261	38	(260)	(38)	577	43	(742)	(43)
社債	77	1	(49)	(1)	87	—	(56)	—
アセット・バック証券	83	8	(57)	(8)	57	4	(40)	(4)
公債	54	—	(62)	—	47	—	(56)	—
プライベート・エクイティ投資	27	—	(27)	—	28	—	(28)	—
金利デリバティブ	85	—	(158)	—	98	—	(212)	—
エクイティ・デリバティブ	221	—	(261)	—	199	—	(269)	—
その他の商品 <sup>1</sup>	81	—	(96)	—	91	—	(104)	—
合計	889	47	(970)	(47)	1,184	47	(1,507)	(47)

1 その他の商品には、ファンドおよびファンドリンク型商品、エクイティ現物商品、クレジット・デリバティブ、為替デリバティブが含まれます。

代替モデルを用いる影響を考慮して、合理的に可能な様々な代替方法について観察不能インプットにストレスを負荷した影響は、最大 936 百万ポンド(2024 年 12 月:1,231 百万ポンド)の公正価値の増加または最大 1,017 百万ポンド(2024 年 12 月:1,554 百万ポンド)の公正価値の減少をもたらし、実質的にすべての潜在的な影響は剰余金ではなく損益に及ぶことになります。

## 重要な観察不能インプット

公正価値で認識され、レベル 3 に分類される資産および負債についての評価技法および重要な観察不能インプットは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書の注記 16「金融商品の公正価値」の記載事項と一致しています。

## 公正価値の調整

貸借対照表上の主要な評価調整は以下の通りです。

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
市場のビッド・オファーのスプレッドによる出口価格調整	(523)	(529)
担保が付されていないデリバティブによる資金調達	28	19
デリバティブ信用評価調整	(189)	(184)
デリバティブ自己信用評価調整	117	108

- 市場のビッド・オファーのスプレッドによる出口価格調整は、6 百万ポンド減少し、(523)百万ポンドとなりました。
- 担保が付されていないデリバティブによる資金調達は、対象となるデリバティブ・ポートフォリオのエクスポージャー・プロファイルにおける原資産の評価額の変動および資金調達スプレッドインプットの変動を受けて 9 百万ポンド増加し、28 百万ポンドとなりました。

## 財務書類に対する注記

- デリバティブ信用評価調整は、対象となるデリバティブ・ポートフォリオのエクスポージャー・プロファイルにおける原資産の評価額の変動およびクレジット・スプレッドインプットの変動を受けて 5 百万ポンド増加し、(189)百万ポンドとなりました。
- デリバティブ自己信用評価調整は、対象となるデリバティブ・ポートフォリオのエクスポージャー・プロファイルにおける原資産の評価額の変動およびバークレイズ・バンク・ピーエルシーのクレジット・スプレッドインプットの変動を受けて 9 百万ポンド増加し、117 百万ポンドとなりました。

### ポートフォリオの適用除外

バークレイズ・バンク・グループは、金融資産および金融負債グループの公正価値の測定に、IFRS 第 13 号「公正価値測定」のポートフォリオの適用除外を利用しています。金融商品は、現在の市況において、貸借対照表日現在の市場参加者間の秩序ある取引において、特定のリスク・エクスポージャーについての正味ロング・ポジション(すなわち資産)の売却、または特定のリスク・エクスポージャーについての正味ショート・ポジション(すなわち負債)の移転に対して受取ると考えられる価格を用いて測定されます。このためバークレイズ・バンク・グループは、市場参加者が測定日現在の正味リスク・エクスポージャーの価格を決定する方法と整合した方法で、金融資産および金融負債グループの公正価値を測定しています。

### 観察不能インプットを用いた評価モデルの使用の結果生じる未認識利益

取引価格(当初認識時の公正価値)と、当初認識時に観察不能なインプットを用いる評価モデルが使用された場合に発生していたと考えられる金額との差額に関して収益にまだ認識されていない金額から、その後認識された金額を控除した額は、公正価値で測定する金融商品について 260 百万ポンド(2024 年 12 月:267 百万ポンド)、償却原価で計上される金融商品については 16 百万ポンド(2024 年 12 月:17 百万ポンド)でした。公正価値で測定する金融商品に起因する金額については、追加額および為替再評価額 47 百万ポンド(2024 年 12 月:177 百万ポンド)、ならびに償却および戻入 54 百万ポンド(2024 年 12 月:104 百万ポンド)が含まれており、償却原価で計上される金融商品に起因する金額については、追加額ゼロポンド(2024 年 12 月:ゼロポンド)、ならびに償却および戻入 1 百万ポンド(2024 年 12 月:1 百万ポンド)が含まれています。

### 第三者による信用補完

バークレイズ・バンク・グループが発行したストラクチャードおよびブローカード譲渡性預金証書は、預金者 1 人当たり 250,000 米ドルを上限に、米国の連邦預金保険公社(FDIC)による保険が掛けられています。FDIC はバークレイズ・バンク・グループおよびその他の銀行が支払う預金保険の手数料から資金を得ています。IFRS 第 9 号の公正価値オプションに基づき公正価値で測定すると指定されたこれらの発行済譲渡性預金の帳簿価額には、この第三者による信用補完が含まれています。これらのブローカード譲渡性預金証書の貸借対照表上の価額は、3,004 百万ポンド(2024 年 12 月:4,844 百万ポンド)でした。

### 公正価値で保有されない資産および負債の帳簿価額と公正価値の比較

償却原価で測定される金融資産および負債の公正価値の計算に用いた評価技法は、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書の注記 16「金融商品の公正価値」の記載事項と一致しています。

以下の表は、バークレイズ・バンク・グループの貸借対照表において償却原価で測定される金融資産および金融負債の公正価値をまとめたものです。

	2025 年 6 月 30 日現在		2024 年 12 月 31 日現在	
	帳簿価額 (百万ポンド)	公正価値 (百万ポンド)	帳簿価額 (百万ポンド)	公正価値 (百万ポンド)
<strong>金融資産</strong>				
債券(償却原価ベース)	54,605	54,126	50,227	49,400
貸付金(償却原価ベース)	142,103	143,378	144,827	146,369
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	7,007	7,007	3,393	3,393
<strong>金融負債</strong>				
預り金(償却原価ベース)	(326,065)	(326,126)	(319,376)	(319,135)
レボ取引およびその他類似の担保付借入	(23,974)	(23,974)	(29,397)	(29,397)
発行債券	(45,925)	(45,869)	(35,803)	(35,745)
劣後負債	(43,221)	(45,083)	(41,875)	(43,030)

## 財務書類に対する注記

### 6.劣後負債

	2025 年 6 月 30 日に終了し た半期 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日終了事業 年度 (百万ポンド)
1 月 1 日現在期首残高	41,875	35,903
発行	5,379	11,222
償還	(2,371)	(5,067)
その他	(1,662)	(183)
期末残高	43,221	41,875
公正価値で測定すると指定された金融負債(注記 5)	550	537
劣後負債合計	43,771	42,412

5,379 百万ポンドの発行は、パークレイズ・ピーエルシーからのグループ内借入金 4,710 百万ポンド、およびパークレイズ・ピーエルシーに発行されたユーロ建 4.616%固定利付金利再設定コーラブル劣後債 669 百万ポンドで構成されています。

2,371 百万ポンドの償還は、パークレイズ・ピーエルシーからのグループ内借入金 2,256 百万ポンド、およびパークレイズ・ピーエルシーに発行されたシンガポールドル建 3.750%固定利付金利再設定コーラブル劣後債 115 百万ポンドで構成されています。

その他の変動には主に、外国為替の変動および公正価値ヘッジ調整額が含まれています。

### 7.引当金

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
顧客に対する補償	16	13
法律、競争および当局関連	86	58
人員削減および事業再編	102	87
未実行の契約上のコミットド・ファシリティおよび保証	405	420
その他引当金	184	158
合計	793	736

### 8.退職給付

2025 年 6 月 30 日現在、パークレイズ・バンク・グループの IAS 第 19 号に基づく退職給付に係る資産純額は 28 億ポンド(2024 年 12 月:31 億ポンド)となりました。パークレイズ・バンク・グループの主要な制度である英国退職基金(UKRF)の IAS 第 19 号に基づく純超過額は、29 億ポンド(2024 年 12 月:32 億ポンド)となりました。UKRF の変動は主に、実際の物価上昇率が想定を上回ったことにより一部相殺されました。

2024 年 9 月 30 日現在の UKRF の年次の積立の最新情報によると、2023 年 9 月 30 日現在は 20.2 億ポンドの積立超過であったのに対し、17.5 億ポンドの積立超過でした。

#### UKRF への参加および UKRF のセクション化

2025 年 6 月 30 日現在、パークレイズ・バンク・ピーエルシーが UKRF の主たる雇用主であり、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーとパークレイズ・エグゼキューション・サービスズ・リミテッドが加入雇用主となっていました。

2025 年 7 月 1 日に、UKRF は、2000 年金融サービス市場法(銀行改革)(年金)規則 2015 の要件を満たすためにセクション別制度に改定され、パークレイズ・バンク・セクションとパークレイズ UK セクションの 2 つの独立したセクションが設定されました。2025 年 7 月 1 日より、パークレイズ・バンク・ピーエルシーがパークレイズ・バンク・セクションの主たる雇用主となり、パークレイズ・エグゼキューション・サービスズ・リミテッドが加入雇用主となりました。セクション化とそれに伴う措置は、パークレイズ・バン

## 財務書類に対する注記

ク・グループが UKRF のパークレイズ UK セクションに対するあらゆるエクスポージャーがなくなることを意味します。UKRF については、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーが主要かつ唯一の加入雇用主として責任を負います。

2025 年 5 月 31 日のデータに基づきパークレイズ・バンク UK ピーエルシーの対象従業員に関連して、UKRF 資産 734 百万ポンドが、対応する給付債務 678 百万ポンドとともに、2025 年 7 月にパークレイズ UK セクションに暫定的に割り当てられ、暫定的な退職給付に係る資産純額 56 百万ポンドがパークレイズ・バンク UK ピーエルシーに移管されました。これらの金額は、最終的な資産と加入者データを受け取り次第、2025 年 9 月に更新される予定です。パークレイズ UK セクションへの資産と負債の最終的な割当額により、2025 年度第 3 四半期に認識されるパークレイズ・バンク・グループの税引前利益に影響を及ぼす決済損失が発生すると予想されます。

### 9.その他の剰余金

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
為替換算再評価差額	2,038	3,690
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額	(1,316)	(1,681)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	(1,333)	(2,448)
当グループ自身の信用度に関連する剰余金	(540)	(1,059)
その他の剰余金	198	196
合計	(953)	(1,302)

#### 為替換算再評価差額

為替換算再評価差額は、ヘッジ効果考慮後のパークレイズ・バンク・グループの外国事業に対する純投資の再換算に係る累積損益を表します。

2025 年 6 月 30 日現在、為替換算再評価差額に 2,038 百万ポンドの累積利益(2024 年 12 月:3,690 百万ポンドの利益)が計上されており、当期における損失は 1,652 百万ポンド(2024 年 12 月:93 百万ポンドの損失)でした。これは主に、当期において米ドルに対して英ポンドが上昇したことを反映しています。

#### その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する投資の当初認識時からの累積未実現損益を表しています。

2025 年 6 月 30 日現在、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融商品の再評価差額に 1,316 百万ポンドの累積損失(2024 年 12 月:1,681 百万ポンドの損失)が計上されていました。当期における 365 百万ポンドの利益(2024 年度:474 百万ポンドの損失)は主に、債券利回りの変動によって債券の公正価値が変動したことによる 427 百万ポンドの利益(2024 年度:522 百万ポンドの損失)、および損益計算書に振替えられた 82 百万ポンドの正味損失(2024 年度:134 百万ポンドの利益)と 141 百万ポンドの税金費用(2024 年度:181 百万ポンドの税金クレジット)に起因しています。

#### キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額

キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額は、有効なキャッシュフロー・ヘッジ手段に係る累積損益を表し、ヘッジ対象取引が損益に影響を及ぼす時点で損益計算書上の損益に振替えられます。

2025 年 6 月 30 日現在、キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額に 1,333 百万ポンドの累積損失(2024 年 12 月:2,448 百万ポンドの損失)が計上されていました。当期における 1,115 百万ポンドの利益(2024 年度:447 百万ポンドの利益)は主に、主要金利フォワード・カーブの下方シフト(2024 年度:上方シフト)によって金利スワップの公正価値が変動したことによる 911 百万ポンドの利益(2024 年度:1,142 百万ポンドの損失)、損益計算書に振替えられた 628 百万ポンドの累積損失(2024 年度:1,699 百万ポンドの損失)と 431 百万ポンドの税金費用(2024 年度:154 百万ポンドの税金費用)によるものです。

#### 当グループ自身の信用度に関連する剰余金

当グループ自身の信用度に関連する剰余金は、公正価値で測定する金融負債の当グループ自身の信用度に関連する累積損益を反映しています。当グループ自身の信用度に関連する剰余金の金額は、将来の期間において損益に振替えられることはありません。



## 財務書類に対する注記

2025 年 6 月 30 日現在、当グループ自身の信用度に関連する剰余金に 540 百万ポンドの累積損失(2024 年 12 月:1,059 百万ポンドの損失)が計上されており、当期においては 519 百万ポンドの利益(2024 年度:819 百万ポンドの損失)でした。これは主に信用スプレッドの拡大による 709 百万ポンドの利益(2024 年度:1,131 百万ポンドの損失)を反映しており、194 百万ポンドの税金費用(2024 年度:309 百万ポンドの税金クレジット)により一部相殺されています。

### その他の剰余金

2025 年 6 月 30 日現在、その他の剰余金として 198 百万ポンドの累積利益(2024 年 12 月:196 百万ポンドの利益)が計上されています。

## 10.偶発債務および契約債務

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
<b>偶発債務および金融保証</b>		
担保に供された保証および信用状	16,860	16,814
履行保証、支払承諾および裏書	9,880	9,751
<b>合計</b>	<b>26,740</b>	<b>26,565</b>
<b>契約債務</b>		
荷為替信用状およびその他の短期的な貿易関連取引	1,252	1,433
スタンドバイ・ファシリティ、信用供与枠およびその他の契約債務 <sup>1</sup>	336,878	352,344
<b>合計</b>	<b>338,130</b>	<b>353,777</b>

<sup>1</sup> 売却目的保有資産に分類される金融資産に関連するエクスポージャーを含みます。

法律、競争および当局関連の事項に関連するパークレイズ・バンク・グループに対する潜在的な財務上の影響の見積りを開示することが現実的でない場合の偶発債務の詳細は、以下の注記 11 に記載されています。

## 11.法律、競争および当局関連

パークレイズ・バンク・グループが直面している法律上、競争上および規制上の課題の多くは、パークレイズの統制が及ばないものです。これらの事項が与える影響の程度は必ずしも予測可能ではなく、パークレイズの事業、経営成績、財政状態ならびに見通しに重要な影響を及ぼす可能性があります。一連の類似の状況から生じる事項により、関連する事実および状況によっては偶発債務または引当金のいずれか、あるいはこの両方が生じる場合があります。

こうした事項に関連する引当金の認識には、注記 7「引当金」に適用される関連する会計方針に従って重要な会計上の見積りおよび判断を行うことが含まれます。偶発債務によってパークレイズ・バンク・グループが受ける潜在的な財務上の影響の見積りは、現時点で見積ることが実務上不可能な場合、開示していません。本注記において詳述している様々な事項では、金額を特定しない損害賠償を求めています。一部の事項では賠償請求額が確定していますが、こうした請求額は、これらの事項に関するパークレイズ・バンク・グループの潜在的な財務エクスポージャーを必ずしも反映したものではありません。

### 特定のアドバイザリー・サービス契約に関する手続

2023 年に、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、PCP インターナショナル・ファイナンス・リミテッドに関連する 2 つのジャージー特別目的ビークルから仲裁申立を受けました。同社は 2008 年 10 月の資金調達に関連する請求を主張しています。本事項は終結しており、アドバイザリー・サービス契約に関するその他の未解決事項はありません。

### LIBOR および他のベンチマークに関連する民事訴訟

様々な管轄区域における複数の個人および法人が、パークレイズ・バンク・グループおよびその他の銀行に対して LIBOR および／またはその他のベンチマーク操作の疑いに関する民事訴訟を提起する兆候があるか、あるいは提起しています。

### LIBOR に関連する米国の民事訴訟



## 財務書類に対する注記

米ドル建 LIBOR、英ポンド建 LIBOR、ならびにインターコンチネンタル取引所およびその関連会社の一部が管理していた LIBOR ベンチマーク(ICE LIBOR)を操作したと主張して、パークレイズ・バンク・グループおよび他の銀行を相手取り、複数の民事訴訟が米国で提起されています。

米ドル建 LIBOR に関しては、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、パークレイズ・キャピタル・インク(BCI)および他の金融機関が個別に、また共同で、米国シャーマン反トラスト法(反トラスト法)、米国商品取引法(CEA 法)、威力脅迫および腐敗組織に関する米国連邦法(RICO 法)、1934 年米国証券取引法ならびに様々な州法の規定に違反し、米ドル LIBOR の金利操作を行ったと主張する 1 件の訴訟が、ニューヨーク州南部地区連邦地方裁判所(SDNY)において金額を特定しない損害賠償を求めて依然として係争中です。パークレイズ・バンク・ピーエルシーはこの訴訟において略式判決を求める申立てを行っており、その申立てに関する審理は 2025 年 1 月に完了しました。その他の訴訟は解決しています。この和解がパークレイズ・バンク・グループの経営成績、キャッシュフローまたは財政状態に及ぼす影響に重要性はありません。

英ポンド建 LIBOR に関しては、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BCI および他の英ポンド建 LIBOR のパネル銀行を相手取り、SDNY において提起された併合集団訴訟は、特に、反トラスト法、CEA 法および RICO 法に違反して英ポンド建 LIBOR の金利操作を行ったと主張するものでしたが、2018 年に却下されました。その却下に対する原告らの控訴に関する口頭弁論は、2024 年 4 月、第 2 巡回区連邦控訴裁判所(第 2 巡回区控訴裁判所)で開かれました。

ICE LIBOR に関しては、2020 年 8 月、反トラスト法に違反したと主張して、カリフォルニア州北部地区連邦裁判所に個々の原告のグループが、米ドル建 ICE LIBOR に連動する変動金利が付された貸付金およびクレジットカードの個々の債務者および消費者を代表して、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび他の金融機関を相手取り、訴訟を提起しました。訴訟の却下を求める被告らの申立ては、2022 年に認められました。2024 年 12 月、第 9 巡回区連邦控訴裁判所は訴訟の却下を支持しました。原告らは米国最高裁判所の再審理を求めましたが、2025 年 6 月に却下され、本件は終結しました。

### 米国外のベンチマークに関する民事訴訟

LIBOR を操作したという主張に関連して、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびその他の銀行に対して 2017 年に発行された残りの英国の請求は解決しています。この和解が当グループの経営成績、キャッシュフローまたは財政状態に及ぼす影響に重要性はありません。LIBOR および EURIBOR を操作したという主張に関連して、スペイン、イタリアおよびイスラエルにおいても訴訟が提起されています。イスラエルにおける訴訟は終結しました。

### 為替に関する民事訴訟

英国、オランダ、イスラエル、ブラジルおよびオーストラリアにおいて、外国為替操作の疑いに関連する訴訟がパークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BCI およびパークレイズ・エグゼキューション・サービスズ・リミテッド(BX)に対して提起されているか、あるいは提起される兆候があります。オーストラリアとイスラエルにおける訴訟では、裁判所の承認を条件に原則的な和解が合意されました。

上記の訴訟には、2019 年に英国競争不服申立審判所(CAT)においてパークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BX、BCI およびその他の金融機関を相手取り提起された 1 件の集団訴訟が含まれています。CAT は 2022 年に当該請求を認定することを拒否しましたが、2023 年に、控訴裁判所は CAT の判決を覆し、請求はオプトアウト・ベースで認定されるべきであるとの判決を下しました。英国最高裁判所は 2025 年 4 月、パークレイズおよび関与する他の金融機関からの上告に関する審理を行いました。

### 金貨に関連する民事訴訟

CEA 法、反トラスト法ならびに州の反トラスト法および消費者保護法に違反して銀の価格を操作したと主張する米国の民事訴訟が、原告集団により、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BCI および BX を含む複数の銀行に対して提起され、SDNY に移送されました。パークレイズのグループ企業およびその他の一部の被告らに対する訴訟は 2018 年に、残りの被告らに対する訴訟は 2023 年に却下されました。原告らは全被告に対する訴訟の却下について控訴しています。

またカナダの裁判所では、パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、パークレイズ・キャピタル・カナダ・インクおよび BCI に対して、金銀の価格を操作したと主張する民事訴訟が原告らの集団を代表して提起されました。

## 財務書類に対する注記

### 米国の住宅モーゲージ関連民事訴訟

米国の住宅モーゲージ・バック証券(RMBS)に関連して、特定の RMBS に関して受託者が提起した未解決の買戻請求から生じた民事訴訟が 1 件残っています。当該訴訟では、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび／または 2007 年に取得した子会社が行った様々なローン・レベルに対する表明および保証の違反を主張しています。この訴訟の却下を求めるパークレイズの申立ては、2023 年に却下されました。両当事者はこの判決を不服として控訴し、2025 年 1 月、控訴裁判所は下級審の判決を覆し、訴訟を却下しました。原告は、ニューヨーク州控訴裁判所による再審理を請求しています。

### 政府証券および政府機関債に関する民事訴訟

#### 米国財務省オークション証券に関する民事訴訟

パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BCI およびその他の金融機関を相手取り、反トラスト法および州のコモンローに基づき、集団訴訟を意図した併合訴訟が米国連邦裁判所に提起されています。当該訴訟は、被告らが(i)共謀して米国財務省証券の市場を操作した、および／または(ii)共謀して特定の取引プラットフォームへの参加を拒否することにより、または参加を拒否すると脅迫することにより、そのプラットフォームの構築を妨害したと主張するものです。裁判所は 2021 年に併合訴訟を却下し、原告らは修正訴状を提出しました。修正訴状の却下を求める被告らの申立ては、2022 年に認められました。原告らはこの判決に対して控訴し、2024 年 2 月に控訴裁判所は却下を支持しました。原告らは米国最高裁判所の再審理を求めなかったため、本件は終了しました。

さらに、一部の原告らは、BCI およびその他一部の金融機関に対して、関連する直接訴訟を提起しました。当該訴訟は、被告らが共謀して、反トラスト法、CEA 法および州のコモンローに違反して米国財務省証券の市場を固定し、操作したと主張するものです。この訴訟は現在も停止されています。

#### 償還条項付変動利付債に関する民事訴訟

パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび BCI ならびにその他の金融機関を相手取り、被告らが共謀または結託して、償還条項付変動利付債(VRDO)に設定された金利を人為的に引き上げたと主張する民事訴訟が提起されています。VRDO は、周期的に(通常は週次で)更改される金利が付された地方債です。州裁判所では、カリフォルニア州を代表する民間の原告らによる 1 件の訴訟が提起されており、本件は証拠開示手続が行われています。集団訴訟を意図した 3 件の訴訟は SDNY において併合されました。SDNY における併合された集団訴訟において、原告らの請求の一部は 2020 年および 2022 年に却下され、集団認定を求める原告らの申立ては 2023 年に認められました。すなわち、この訴訟は集団訴訟として進む可能性があります。被告らはこの決定に対して控訴しています。

### 単元未満社債に関する反トラスト法集団訴訟

2020 年に、BCI およびその他の金融機関は、米国において集団訴訟を意図した訴訟の被告とされました。訴状では、端株取引や価格決定のための電子取引プラットフォーム開発への参加を共謀して拒否したと主張しています。原告らは、金額を特定しない金銭的損害賠償を求めています。却下を求める被告の申立ては、2021 年に認められ、これに対して原告らは控訴しました。2024 年 7 月、第 2 巡回区控訴裁判所は判決を取り消して SDNY に本件を差し戻し、2024 年 9 月、原告らは SDNY において第二修正訴状を提出しました。被告らは却下を求める申立てを行いました。

### クレジット・デフォルト・スワップに関する民事訴訟

ニューメキシコ連邦裁判所において、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、BCI およびその他様々な金融機関を相手取った集団訴訟が係争中です。原告であるニューメキシコ州投資委員会および特定のニューメキシコ年金基金は、被告らが決済時にクレジット・デフォルト・スワップ(CDS)契約の評価に使用されるベンチマーク価格(すなわち、CDS 最終オークション価格)を共謀して操作したと主張しています。原告らは、米国反トラスト法および CEA 法の違反、ならびに州法に基づく不当利得を主張しています。却下を求める被告らの申立ては、2023 年に却下されました。2024 年 1 月、SDNY は、過去の CDS 反トラスト訴訟の和解により、これらの原告らは 2014 年 6 月 30 日より前の行為に基づく請求を主張できないとの判決を下しました。原告らは第 2 巡回区控訴裁判所に控訴し、当該控訴は 2025 年 5 月に棄却されました。この訴訟はニューメキシコ連邦裁判所に戻されました。

## 財務書類に対する注記

### 金利スワップおよびクレジット・デフォルト・スワップに関する米国の民事訴訟

パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび BCI、ならびに金利スワップ (IRS) のマーケット・メーカーの役割を務めるその他の金融機関は、1 件の集団訴訟を意図した訴訟および特定のスワップ取引執行機関によって提起された複数の個別訴訟を含む、複数の反トラスト法訴訟の被告とされており、これらの訴訟は SDNY において併合されています。訴状では、被告らが共謀して IRS の取引所の発展を妨げたとして、金額を特定しない金銭的損害賠償を求めています。両当事者は集団訴訟について和解に達し、この和解に対して裁判所の最終承認を得て、支払いが行われています。この和解がパークレイズ・バンク・グループの経営成績、キャッシュフローまたは財政状態に及ぼす財務上の影響に重要性はありません。個別請求は SDNY で別途進行中です。

### BDC ファイナンス・エルエルシー

2008 年に BDC ファイナンス・エルエルシー (BDC) は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーが、ISDA マスター契約によって規定されるトータル・リターン・スワップのポートフォリオに関連する契約 (本マスター契約) に違反したと主張し、298 百万米ドルの損害賠償を求める訴訟をニューヨーク州最高裁判所において提起しました。審理の後、裁判所は 2018 年に、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは違反を行った当事者ではない旨の判決を下し、この判決は控訴審において支持されました。2021 年に、第一審裁判所は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーに 3.3 百万米ドルの支払いを命じる有利な判決を下しましたが、法務費用および経費はまだ決定されていません。2022 年に上訴裁判所は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーに有利な第一審裁判所の略式判決を覆し、さらに手続を行うため下級裁判所に本件を差し戻しました。両当事者は、裁判の範囲について反対申立てを提出しました。2024 年 1 月、裁判所はパークレイズに有利な判決を下しました。2024 年 12 月、控訴裁判所は第一審裁判所の判決を破棄しました。

### 米国反テロリズム法に関する民事訴訟

パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびその他複数の銀行を相手取り、4,000 名超の原告を代表して、8 件の民事訴訟がニューヨーク州東部地区連邦地方裁判所 (EDNY) および SDNY において提起されました。訴状では概して、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびその他の銀行が共謀してイラン政府およびイランの複数の銀行が米ドル建て取引できるよう便宜を図ったために、これによって資金を得たテロ行為で原告らまたは原告らの家族が負傷または死亡したと主張しています。原告らは、米国反テロリズム法の規定 (同法では認定された損害の 3 倍の賠償を認めています) に基づく苦痛、身体的苦痛および精神的苦痛に関する損害の回復を求めています。

裁判所は、EDNY における 6 件の訴訟のうち 3 件の却下を求める被告らの申立てを認めました。原告らは 1 件の訴訟で控訴し、2023 年に却下が認められ、判決が下されました。判決取り消しを求める原告らの申立てについて、すべての主張が提示されました。EDNY で却下された他の 2 件の訴訟は、1 件の訴訟に併合されました。この訴訟および EDNY の他の 1 件の訴訟の原告らは、修正訴状を提出しました。EDNY の他の 2 件の訴訟は、現在停止しています。SDNY における 2 件の訴訟のうち、裁判所は、1 件目の訴訟の却下を求める被告らの申立てを認めました。この訴訟は停止され、2 件目の SDNY の訴訟は、1 件目の却下に対する控訴中は停止しています。

### 株主代表訴訟

2020 年に、パークレイズの株主とされる原告は、ニューヨーク州裁判所において、BCI、ならびに複数のパークレイズ・ピーエルシーの現職および元取締役会役員およびパークレイズ・バンク・グループの上級役員または従業員を相手取り、集団訴訟を意図した株主代表訴訟を提起しました。株主である原告らは、名目上の被告であるパークレイズ・ピーエルシーを代表してこの訴訟を提起し、個々の被告が 2006 年会社法に基づくものを含め、義務違反により会社に損害を与えたと主張しています。原告は、主張されているこれらの違反の結果としてパークレイズ・ピーエルシーが被ったとされる損失について、パークレイズ・ピーエルシーに代わって損害賠償を求めました。2021 年に修正訴状が提出され、BCI およびその他の一部の被告は却下を求める申立てを行いました。却下を求める申立ては、2022 年に認められました。原告はこの判決に対して控訴し、2023 年にニューヨーク州第一司法部により全会一致で却下が認められました。原告は第一司法部の決定を不服としてニューヨーク州上訴裁判所に控訴しました。2025 年 5 月にニューヨーク州上訴裁判所により却下が認められ、この訴訟は終結しました。

### 過去のタイムシェア・ローンおよび関連事項に関する専門家によるレビュー



## 財務書類に対する注記

パークレイズ・パートナー・ファイナンスとして取引し、パークレイズの POS ファイナンス事業を行うクライズデール・ファイナンシャル・サービス・リミテッド(CFS)は、タイムシェア購入に関連する顧客に対する特定のローンに係る過去の返済能力の評価についての懸念を受けて、2020 年に FCA から専門家によるレビューを行うことを要求されました。専門家によるレビューは 2021 年に終了しました。CFS は、一定の是正措置の実施を含め、専門家によるレビューの要件を完全に遵守しました。CFS は帳簿の全面的な遡及レビューを求められませんでした。その代わりに、CFS は過去の限定的な貸付をレビューし、CFS の実務慣行が顧客の損害の原因となったかどうかを確認し、損害を与えた事例の是正を行いました。この作業は、是正措置を会計処理するために計上された引当金を取り崩して、2023 年において実質的に完了しました。本件は終結しています。

### 自動車金融手数料の取り決め

2024 年 1 月、FCA は、自動車金融市場における一任手数料の取り決めと販売の従来利用について、複数の会社にわたるレビューを行うスキルのある担当者を任命しました。パークレイズは、FCA のスキルのある担当者によるレビューに全面的に協力していますが、その結果は不明です。このレビューは、英国金融オンブズマン・サービス(FOS)による 2 つの最終決定を受けたものですが、そのうち 1 つは自動車金融商品の販売における手数料の取り決めと開示に関連する CFS に対する苦情、および CFS に対するものも含め多数の苦情や裁判における請求を支持するものでした。

2024 年 4 月、CFS は、自動車金融商品の販売における手数料の取り決めと開示に関連する FOS の決定に対して、高等裁判所に司法審査の申立てを行いました。2024 年 12 月、高等裁判所は CFS に不利な判決を下しました。CFS はこの決定を不服として英国控訴院に控訴しました。

それとは別に、2024 年 10 月、英国控訴院が 3 件の自動車金融手数料訴訟において貸手側に不利な判決を下しました。CFS はこの訴訟の当事者ではありません。最高裁判所は 2025 年 4 月にこれらの訴訟の上告の審理を行いました。判決はまだ出ていません。英国控訴院の決定と今後の英国最高裁判所への上告を踏まえ、FCA は苦情の受付停止措置を、任意の手数料の取り決めだけでなく、すべての自動車金融の手数料に拡大しました。

CFS は 2019 年後半に自動車金融市場における営業活動を停止しました。2020 年に、CFS は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーから、パークレイズ・ピーエルシーの別の子会社であるパークレイズ・プリンシパル・インベストメンツ・リミテッド(BPIL)に移管されました。パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、CFS に関連する過去の訴訟および行為の問題に関して、BPIL に対してグループ内補償を提供しています。

### 米国における有価証券の超過発行

2022 年に、経営幹部は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーが米国証券発行登録書に基づく登録金額を大幅に超えて有価証券を発行していたことを認識しました。

2022 年に、パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、ならびに元経営陣および現経営陣に対して、パークレイズ・ピーエルシーの米国預託証券の価格下落に関する責任を問う集団訴訟とされる訴訟がマンハッタンの連邦地方裁判所に提起されました。原告らは、この価格下落が情報公開における虚偽表示および省略の疑いの結果として発生したものと主張しています。訴訟の却下を求める被告らの申立ては、2024 年 2 月に一部が認められ、一部が却下されました。両当事者はこれらの訴訟に関して和解に達し、この和解に対して裁判所の最終承認を得て、支払いも行われ、本件は終結しました。この和解が当グループの経営成績、キャッシュフローまたは財政状態に及ぼす財務上の影響に重要性はありません。

さらに、VXX ETN の保有者は、パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、ならびに米国の元経営陣および現経営陣と取締役に対して、ニューヨークの連邦裁判所に集団訴訟とされる訴訟を提起しました。この訴訟では、特にパークレイズがこれらの ETN が未登録証券であることを開示しなかったことによって投資家に判断を誤らせ、その結果、当該 ETN のさらなる売出しと発行の停止を受けて保有者が被ったとされる損失についてパークレイズに責任があると主張しています。原告らは修正許可を認められ、2024 年 3 月に新たな訴状を提出しました。却下を求めるパークレイズの申立ては、2025 年 3 月に認められました。再審理を求める原告らの申立ては、2025 年 6 月に却下されました。原告は、この判決に対して控訴しています。

2024 年 3 月に、パークレイズ・ピーエルシー、パークレイズ・バンク・ピーエルシー、ならびに元経営陣および現経営陣に対して集団訴訟を意図した訴訟がニューヨークの連邦裁判所に提起されました。原告は、パークレイズが有価証券の超過発行の結果として VXX ETN の新規発行と販売を停止した際に、ショート・ポジションが多額の損失を被ったと主張し、ショート・ポジションの売手

## 財務書類に対する注記

の集団を代表して訴訟を提起するとしています。却下を求めるパークレイズの申立ては、2025 年 3 月に認められました。原告はこの判決に対して控訴しています。

### 英国付加価値税に関する英国歳入税関庁(HMRC)の評価

2018 年に HMRC は、英国で事業を行うパークレイズの一部の海外子会社をパークレイズの英国 VAT グループから除外する、またはグループへの加入を防ぐ効力をもつ通知を発行しました。英国 VAT グループのメンバー間の供給は通常、VAT が免除されます。この通知は遡及的にも将来的にも効力を有していました。パークレイズは、遡及的な VAT 評価と 2018 年以降に行われている継続的な VAT 支払いの両方に関連して、HMRC の決定を不服として第一審判所(租税部)に控訴しました。2014 年から 2018 年までの期間を対象とする 181 百万ポンドの VAT(利息を含みます)が HMRC によって遡及的に賦課されましたが、そのうち約 128 百万ポンドがパークレイズ・バンク UK ピーエルシーに、約 53 百万ポンドがパークレイズ・バンク・ピーエルシーに帰属する見込みです。この遡及的に賦課された VAT は 2018 年に支払われており、予想される最終的な回収を反映するように調整された資産が認識されています。2018 年以降、パークレイズは、該当する子会社から VAT グループのメンバーへのグループ内供給に係る VAT を支払っており、費用として認識しています。継続的な VAT 納付に関して、裁判所は 2024 年 8 月の VAT グループ化を否定する HMRC の主張を支持しました。パークレイズは、この決定を不服として上級審判所に控訴しました。

### 金融犯罪に関するシステムと統制、およびマネーロンダリング規制の遵守状況に関する FCA の調査

FCA は、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびパークレイズ・バンク UK ピーエルシーのマネーロンダリング規制ならびに FCA のマネーロンダリング防止および金融犯罪に関するシステムと統制についての業務原則および規則の遵守状況について、民事執行調査を行いました。FCA によるパークレイズ・バンク・ピーエルシーの調査は、主にリスクの高い顧客に対する過去の監督と管理に重点を置いていました。2025 年 7 月、パークレイズ・バンク・ピーエルシーは当該調査を解決するため、FCA との和解に合意しました。同時に、パークレイズ・バンク UK ピーエルシーは、FCA 規制対象企業の顧客資金口座のオンボーディングに関する別の調査において FCA と和解に達しました。FCA は両事項におけるパークレイズの協力を認め、両事項は終結しました。

### 英国銀行税

2024 年 11 月、HMRC は、英国銀行税の課税対象から保護預金を除外する目的で、受益者口座の取り扱いに関する公表済みの指針を改定しました。英国銀行税に関する法律についての HMRC の解釈は、同法についてのパークレイズの解釈とは異なりますが、パークレイズの解釈は、パークレイズの英国銀行税申告書に適用され、パークレイズが引き続き正しいと考えています。2024 年 12 月、HMRC はこの取り扱いに異議を申し立てる意向をパークレイズに通知する書面を送付しました。HMRC との協議は初期段階であり、評価はまだ公表されていません。

### 一般事項

パークレイズ・バンク・グループは、英国、米国およびその他の海外の複数の管轄区域において、その他の様々な法律、競争および規制関連事項に関与しています。パークレイズ・バンク・グループは、通常の営業活動の一環として随時生じる、契約、有価証券、保証、債権回収、消費者信用、不正行為、信託、顧客資産、競争、データ管理および保護、知的財産、マネーロンダリング、金融犯罪、雇用、環境ならびにその他の制定法およびコモロー上の問題を含め(ただし、これらに限定されません)、パークレイズ・バンク・グループが提起した、またはパークレイズ・バンク・グループに対して提起された訴訟の対象となっています。

また、パークレイズ・バンク・グループは、パークレイズ・バンク・グループが現在、または以前から関与している消費者保護対策、マネーロンダリングや金融犯罪対策、法規制遵守、ホールセール取引活動ならびに銀行業務および事業活動のその他の分野(ただし、これらに限定されません)に関連する、規制当局、政府機関またはその他の公共機関による聴取および検査、情報請求、監査、調査および訴訟ならびにその他の手続の対象となっています。パークレイズ・バンク・グループは、関連当局と協力し、これらの事項および本注記に記載のその他の事項に関して、継続的にすべての関連機関に対して適宜、概要報告を行っています。

## 財務書類に対する注記

現時点において、バークレイズ・バンク・グループは、これらその他の案件の最終的な解決がバークレイズ・バンク・グループの財政状態に重大かつ不利な影響を与えるとは予想していません。しかしながら、こうした事項および本注記において具体的に記載されている事項に伴う不確実性の観点から、特定の 1 つまたは複数の事項（以前に扱われていた事項や本注記の作成日以降に発生した事項を含みます）の結果が、特定の期間におけるバークレイズ・バンク・ピーエルシーの経営成績またはキャッシュフローにとって重要でないという保証はありません。これは、特に、かかる事項によって生じる損失の金額または当該報告期間に計上される利益の金額によって異なります。

### 12. 関連当事者取引

2025 年 6 月 30 日に終了した半期における関連当事者取引は、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書で開示された取引内容と同様の性質でした。2025 年 6 月 30 日に終了した半期に生じた関連当事者取引のうち、バークレイズ・バンク・グループの当期の財政状態または業績に重要な影響を及ぼすものではありません。また、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの 2024 年度の英文年次報告書に記載された関連当事者取引に関する変更のうち、当期におけるバークレイズ・バンク・グループの財政状態または業績に重要な影響を及ぼすものではありません。

### 13. 売却目的保有に分類された処分グループに含まれる資産および負債

バークレイズは、USCB の提携カード・ポートフォリオの単独発行者になるための入札を断念することを決定し、当該ポートフォリオは 2026 年度上半期に移管されることになりました。USCB に保有されているこのポートフォリオは、プレミアム価格で売却される見込みです。

処分グループの範囲は、2025 年 6 月 30 日現在、IFRS5 の要件に従って会計処理されています。処分グループの詳細な分析は以下の通りです。2025 年度の処分グループには、USCB における米国カード・ポートフォリオが含まれます。2024 年度の処分グループには、USCB における米国カード・ポートフォリオと、バークレイズ・バンク・アイルランド・ピーエルシーが当期中に売却したと発表した、本社におけるドイツのコンシューマー・ファイナンス事業が含まれます。

	2025 年 6 月 30 日現在 (百万ポンド)	2024 年 12 月 31 日現在 (百万ポンド)
<b>売却目的保有に分類された処分グループに含まれる資産</b>		
顧客に対する貸付金	5,464	9,544
無形資産	10	25
有形固定資産	—	24
その他の資産	111	261
<b>売却目的保有に分類された資産合計</b>	<b>5,585</b>	<b>9,854</b>
<b>売却目的保有に分類された処分グループに含まれる負債</b>		
顧客預り金	—	3,647
その他の負債	—	77
引当金	—	2
<b>売却目的保有に分類された負債合計</b>	<b>—</b>	<b>3,726</b>
<b>売却目的保有に分類された純資産</b>	<b>5,585</b>	<b>6,128</b>

## その他の情報

為替レート <sup>1</sup>	増減率(%) <sup>2</sup>				
	2025 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日	2024 年 6 月 30 日	2024 年 12 月 31 日	2024 年 6 月 30 日
期末日-米ドル／英ポンド	1.37	1.25	1.26	10%	9%
6 カ月平均-米ドル／英ポンド	1.30	1.28	1.26	2%	3%
3 カ月平均-米ドル／英ポンド	1.34	1.28	1.26	5%	6%
期末日-ユーロ／英ポンド	1.17	1.21	1.18	(3)%	(1)%
6 カ月平均-ユーロ／英ポンド	1.19	1.18	1.19	1%	—%
3 カ月平均-ユーロ／英ポンド	1.18	1.20	1.18	(2)%	—%

### お問い合わせ

#### インベスター・リレーションズ

マリナ・シュシュキナ 電話: +44 (0) 20 7116 2526

#### メディア・リレーションズ

トム・ホスキン 電話: +44 (0) 20 7116 4755

パークレイズ・バンク・ピーエルシーの詳細は当社のホームページ(home.barclays)にて閲覧可能です。

### 登録事務所

1 Churchill Place, London, E14 5HP, United Kingdom. 電話: +44 (0) 20 7116 1000 会社番号: 1026167.

<sup>1</sup> 上記の平均為替レートは、各期間における日次のスポット・レートの平均です。

<sup>2</sup> 増減率は英ポンドの数字に対する影響に基づくものです。



## パークレイズ・バンク・ピーエルシー、 パークレイズ・バンク・グループおよびパークレイズ・グループ

パークレイズ・バンク・ピーエルシー（以下「当行」といい、その子会社と総称して「**パークレイズ・バンク・グループ**」といいます。）は、イングランドおよびウェールズにおいて登録されている公開有限責任会社（登録番号: 1026167）です。当行のメンバーの責任は限定的です。当行の登録上の本社は、英国ロンドン市 E14 5HP チャーチル・プレイス 1（電話番号: +44 (0)20 7116 1000）に所在します。当行は1925年植民地銀行法に基づき1925年8月7日に設立され、1971年10月4日、会社法（1948年から1967年法）に基づき株式会社として登録されました。1985年1月1日、当行は1984年パークレイズ銀行法に基づき公開有限責任会社として再登録され、名称が「パークレイズ・バンク・インターナショナル・リミテッド」から「パークレイズ・バンク・ピーエルシー」に変更されました。当行の発行済普通株式資本は全て、パークレイズ・ピーエルシーが実質的に所有しています。パークレイズ・ピーエルシー（以下その子会社と総称して「**パークレイズ・グループ**」または「**パークレイズ**」といいます。）は、パークレイズ・グループの最終持株会社です。

パークレイズは、パークレイズ UK、パークレイズ UK コーポレート・バンク、パークレイズ・プライベート・バンク・アンド・ウェルズ・マネジメント、パークレイズ・インベストメント・バンクおよびパークレイズ US コンシューマー・バンクの5つの事業部門を有する多角的な銀行であり、パークレイズ・エグゼキューション・サービス・リミテッドによって支援されています。パークレイズ・エグゼキューション・サービス・リミテッドは、パークレイズ・グループの事業全体に技術、業務および実務的サービスを提供するサービス会社です。

パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、パークレイズ・グループ内の非リングフェンス銀行であり、その主な活動は、大手の法人顧客、プライベート・バンクおよび資産運用業務の顧客、ホールセール顧客および国際的に銀行業務を行う顧客向けの商品およびサービスを提供することです。パークレイズ・バンク・グループは、パークレイズ UK コーポレート・バンク（UKCB）、パークレイズ・プライベート・バンク・アンド・ウェルズ・マネジメント（PBWM）、パークレイズ・インベストメント・バンク（IB）およびパークレイズ US コンシューマー・バンク（USCB）の各事業を含みます。パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、コンシューマー・バンキングとホールセール・バンキングにまたがる幅広い商品やサービスを顧客やクライアントに提供しています。

パークレイズ UK は、パークレイズ・グループ内の、パークレイズ・バンク UK ピーエルシー、英国リングフェンス銀行およびその子会社に属する事業を広く表しており、UK パーソナル・バンキング、UK ビジネス・バンキングおよびパークレイカード・コンシューマー UK で構成されています。UK パーソナル・バンキング事業は、顧客の日常的な金融ニーズを支えるリテール・ソリューションを提供し、UK ビジネス・バンキング事業は、高成長の新興企業から中小企業に至るまでの企業顧客を対象に、専門的なアドバイスを提供し、パークレイカード・コンシューマー UK 事業は、柔軟な借入および決済ソリューションを提供しています。2024年11月1日以降、パークレイズ UK には、テスコ・パーソナル・ファイナンス・ピーエルシーから取得したリテール・バンク事業（以下「**テスコ・バンク**」といいます。）が含まれており、テスコ・バンクにはクレジットカード、個人向け無担保ローン、貯蓄および運営インフラが含まれています。

パークレイズ・バンク・ピーエルシーは、短期無担保債務の格付けにおいて、S&P グローバル・レーティングス・UK・リミテッドから A-1、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・リミテッドから P-1、およびフィッチ・レーティングス・リミテッドから F1 をそれぞれ取得しています。また、無担保かつ非劣後の長期債務の格付けでは、S&P グローバル・レーティングス・UK・リミテッドから A+、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・リミテッドから A1、およびフィッチ・レーティングス・リミテッドから A+ をそれぞれ取得しています。

パークレイズ・バンク・グループの2024年12月31日を期末日とする年度の監査済みの財務情報において、パークレイズ・バンク・グループの資産合計は1,218,524百万ポンド（2023年12月: 1,185,166百万ポンド）、貸付金および債券（償却原価ベース）合計は195,054百万ポンド（2023年12月: 185,247百万ポンド）、預り金（償却原価ベース）合計は319,376百万ポンド（2023年12月: 301,798百万ポンド）ならびに株主資本合計は59,220百万ポンド（2023年12月: 60,504百万ポンド）でした。パークレイズ・バンク・グループの2024年12月31日を期末日とする年度の税引前利益は、信用に関する減損費用として1,617百万ポンド（2023年12月: 信用に関する減損費用として1,578百万ポンド）を計上後、4,747百万ポンド（2023年12月: 4,223百万ポンド）でした。本項における財務情報は、2024年度 Form 20-F に記載された、当行の2024年12月31日を期末日とする年度の監査済みの連結財務書類から引用したものです。

パークレイズ・バンク・グループの2025年6月30日を期末日とする6カ月間の未監査の財務情報において、パークレイズ・バンク・グループの資産合計は1,297,310百万ポンド（2024年12月: 1,218,524百万ポンド）、貸付金および債券（償却原価ベース）合計は196,708百万ポンド（2024年12月: 195,054百万ポンド）、預り金（償却原価ベース）合計は326,065百万ポンド（2024年12月: 319,376百万ポンド）ならびに株主資本合計は61,248百万ポンド（2024年12月: 59,220百万ポンド）でした。パークレイズ・バンク・グループの2025年6月30日を期末日とする6カ月間の税引前利益は、信用に関する減損費用として875百万ポンド（2024年6月: 信用に関する減損費用として831百万ポンド）を計上後、3,840百万ポンド（2024年6月: 2,677百万ポンド）でした。本項における財務情報は、2025年度上半期 Form 6-K に記載された、当行の2025年6月30日を期末日とする6カ月間の未監査の要約連結中間財務書類から引用したものです。